



愛知学院大学大学院
要覧・2025



2026年、愛知学院は創立150年を迎えます。

愛知学院大学大学院は 研究力で未来を切り拓く9研究科13専攻に



GRADUATE SCHOOL OF AICHI GAKUIN UNIVERSITY



文学研究科

宗教学専攻(博士前期・後期課程)
歴史学専攻(博士前期・後期課程)
英語圏文化専攻(博士前期・後期課程)
日本文化専攻(博士前期・後期課程)

心身科学研究科

心理学専攻(博士前期・後期課程)
健康科学専攻(博士前期・後期課程)

商学研究科

商学専攻(博士前期・後期課程)

経営学研究科

経営学専攻(博士前期・後期課程)

経済学研究科

経済学専攻(修士課程)

法学研究科

法律学専攻(博士前期・後期課程)

総合政策研究科

総合政策専攻(博士前期・後期課程)

薬学研究科

医療薬学専攻(博士課程)

歯学研究科

歯科基礎系、歯科臨床系(博士課程)



index

学長メッセージ	1
文学研究科	3
心身科学研究科	8
商学研究科	16
経営学研究科	19
経済学研究科	22
法学研究科	24
総合政策研究科	26
薬学研究科	28
歯学研究科	30
入試結果	32
学納金 奨学金制度	33
進学相談会	35
アクセスマップ	37

高度な専門知識をもった 社会のリーダーを目指して



愛知学院大学学長
博士(文学)
きむら ぶんき
木村 文輝

愛知学院大学は各学部の上に大学院を設置して、学部教育を終えた学生がより高度な研究を継続できる体制を整えています。文学、心身科学、総合政策、商学、経営学、経済学、法学の各研究科には、研究者の育成と高度職業人の養成を目指す博士前期課程と、各学会に貢献し得る優れた研究者を育む後期課程が設けられています。一方、歯学、薬学の両研究科では、原則として4年の修業年限で博士学位の取得を目指しています。

とはいっても、大学院で学ぶ学生たちの目標は、大きく2つに分かれることも事実です。1つは特定の課題の研究に専心することで、優れた知見と分析力を身につけた一人前の研究者として自立することを目指す立場、もう1つは教諭専修免許状の取得をはじめ、文学研究科における臨床宗教士、心身科学研究科の公認心理師や臨床心理士、次世代言語聴覚士や管理栄養士、商学、経営学、経済学、法学の各研究科における税理士など、各分野のスペシャリストとしての資格の取得を目指す立場です。

これら両方の目的を達成するために、本学大学院では優れた教授

陣を配するとともに、学生一人ひとりの個性と研究課題に応じた少人数の演習授業を行っています。また、教育研究の国際化に対応するために、海外、特にアジア各国からの留学生の積極的な受け入れと、彼らの学位取得をサポートする十分な体制を整えています。さらに、実学系の各研究科では、中部地方の政治・経済の心臓部に位置する名城公園キャンパスの地の利を存分に生かしながら、産官学の積極的な連携の中で教育研究を行っています。その他、研究科によっては学部3年次からの飛び級制度を用意する一方で、社会人の方々が、実社会で積まれた多くの経験を検証したり、若い頃からの憧れだった新しい分野に挑戦することを支援するため、じっくりと研究に専念できる教育環境も整えています。

若い世代と経験豊かな世代、日本人学生と外国人留学生、そして何よりも、一流の教授陣とこれから学問研究の世界に漕ぎ出していく学生たち。互いに切磋琢磨しながら、深い考察と活発な議論を通して知恵を磨き、それぞれが目指す分野の高度な知識を本学大学院にて身につけられることを願っています。

多分野にわたり、 高い研究成果をあげています。

愛知学院大学大学院は、高度な専門知識および応用理論・技術を研究教授することで、医療、法律実務、税務、教育、福祉、企業、行政などの、社会の多様な場面で活躍する高度専門職業人と研究者を育成してきました。

これまでに修士課程を修了して修士の学位を取得した人数は、文学研究科1,132人、心身科学研究科325人、商学研究科972人、経営学研究科627人、経済学研究科7人、法学研究科1,270人、総合政策研究科79人にのぼっています。修了生は、公認心理師や臨床心理士、税理士、公認会計士、教員、公務員、弁護士、宗教家、学芸員などとして各分野で活躍しています。博士後期課程は、新しい学問領域を切り開ける先導的な研究者、大学教員の養成を目的としており、同課程満了者は大学教員、各種の研究機関における研究職に就き、学術と社会の発展に寄与しています。

薬学研究科医療薬学専攻(修士課程)は、21世紀の高度先端技術医療の推進に貢献できる薬剤師と薬学研究者の養成を目的にして、医療分子薬学分野と医療機能薬学分野における先端的研究に取り組んでいます。

歯学研究科の博士課程では、歯科基礎系と歯科臨床系に大別された多様な専門領域における研究に取り組んでいます。これまでに1,435人にのぼる歯学博士・博士(歯学)を輩出し、大きな研究成果をあげて社会に貢献しています。

沿革

- 1964(昭和39)年4月▶商学研究科商学専攻・法学研究科私法学専攻(修士課程)開設
1966(昭和41)年4月▶商学研究科商学専攻・法学研究科私法学専攻(修士課程)開設
1968(昭和43)年4月▶歯学研究科(修士課程)開設
1974(昭和49)年4月▶文学研究科宗教学仏教学専攻・心理学専攻(修士課程)開設
1976(昭和51)年4月▶文学研究科宗教学仏教学専攻・心理学専攻(博士課程)開設
1978(昭和53)年4月▶文学研究科歴史学専攻(修士課程)開設
1980(昭和55)年4月▶文学研究科歴史学専攻(博士課程)開設
1990(平成2)年4月▶文学研究科英語圏文化専攻(修士課程)開設
▶法学研究科私法学専攻を法律学専攻と名称変更
1992(平成4)年4月▶文学研究科英語圏文化専攻(博士課程)開設
▶文学研究科日本文化専攻(修士課程)開設
1993(平成5)年4月▶経営学研究科経営学専攻(修士課程)開設
1994(平成6)年4月▶文学研究科日本文化専攻(博士課程)開設
▶経営学研究科経営学専攻(博士課程)開設
2002(平成14)年4月▶総合政策研究科総合政策専攻(修士・博士課程)同時開設
2003(平成15)年4月▶栄サテライトセンター開設
2005(平成17)年4月▶法務研究科法務専攻(法科大学院)開設
2006(平成18)年4月▶文学研究科心理学専攻を心身科学研究科心理学専攻に改組転換
2008(平成20)年4月▶心身科学研究科健康科学専攻(修士課程)開設
2009(平成21)年4月▶薬学研究科薬科学専攻(修士課程)開設
2010(平成22)年4月▶心身科学研究科健康科学専攻(博士課程)開設
2012(平成24)年4月▶薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)開設
2014(平成26)年4月▶名城公園キャンパス開設
2017(平成29)年4月▶経済学研究科経済学専攻(修士課程)開設

博士学位取得者の論文名(歯学研究科を除く)

- 平成27年度
▶文学研究科
インドネシア語・日本語ビジネス電子メールについて -「敬称」「前文」「本文」「末文」の研究-
▶文学研究科
台湾における観光旅行事業史1920~70年代 -日本統治時代・国民党時代の政策と関連させて-
▶文学研究科
ウィリアム・ゴーラーディング研究 -悪の視点から-
平成28年度
▶文学研究科
大日本生産党の研究 -近代日本の「右翼」運動と政治-
▶文学研究科
寂円禪師研究
▶文学研究科
天台智顥における三諦三觀思想の研究
▶文学研究科
E・M・フォスターのフィクション研究 -関係性の中の「個人」たち-
▶心身科学研究科
舌癰周術期における構音障害の経時的变化に対する音響学的検討
Phonologic and acoustic analysis of speech following glossectomy and the effect of rehabilitation on speech outcomes
▶心身科学研究科
小学生が付けたい体力と保護者が子どもに付けさせたい体力
▶薬学研究科
地域医療における医師と薬剤師の共同薬物治療管理体制の構築とその意義
▶薬学研究科
球状微粒子シリカを利用した新規個体分散製剤調技術の開発
平成29年度
▶文学研究科
伊勢神宮神仏習合史の研究
▶心身科学研究科
ピア・サポート・プログラムの長期的実践が男子高校生の対人関係能力、自尊感情、精神的健康度へ及ぼす影響
▶文学研究科
日本語空間名詞の研究
▶経営学研究科
心理的資本が従業員の離脱行動に及ぼす影響についての研究 -中国企業の従業員離脱行動の事例を通して-
▶文学研究科
明末天台教学の研究 -特に藕益智旭を中心として-
▶商学研究科
外国市場参入における国際戦略提携に関する研究 -戦略提携の変遷の導出-
▶薬学研究科
Clostridiaceae科の細菌による潰瘍性大腸炎モデルマウス病態増悪能の検証および分類学的精査
▶薬学研究科
アンチモンを含むアセチレン誘導体を利用した三置換トリアゾールの一般合成法の開発と化学反応性的解明
▶薬学研究科
マメ科植物(サンズン)から単離したRXRアゴニストの生物活性に関する研究:アルツハイマー病治療薬への応用の可能性
令和元年度
▶文学研究科
トウカン三世の生涯と思想
▶心身科学研究科
大学歯科健診後の口腔の健康に対する关心と自覚症状 -歯科健診を実施しているA大学での調査-
▶薬学研究科
13-(2-Methylbenzyl) berberineはMexXY系依存的アミノグリコシド系薬耐性をペルベリンより強く阻害する
令和2年度
▶文学研究科
中世東濃窯の研究
▶心身科学研究科
HPVワクチン接種経験と子宮頸がんに関する認識および検診行動との関連 -A看護専門学校における調査-
▶文学研究科
Poverty-Free Life with Endless Debt: A Study of Grameen Bank and Women Empowerment
▶法学研究科
交通事故補償の法理と紛争解決手続 -イギリス法を比較対象として-
令和3年度
▶文学研究科
日本古代神仏交渉の研究 -仏教の受容と神祇祭祀の展開-
▶薬学研究科
含フッ素5価有機アンチモン化合物の合成とPd触媒下でのクロスカッピング反応への応用に関する研究
▶心身科学研究科
臨床動作法のリラクセーション効果に関する研究
大腿部筋電気刺激機器を用いた運動が糖代謝に及ぼす急性効果
▶総合政策研究科
青年・成人の介護・扶養意識に関する心理的要因の検討
青年期の全体の自己価値に関する発達的研究
▶薬学研究科
カドミウム腎毒性に対する感受性決定因子の同定に関する研究
▶文学研究科
橋の表象と信仰についての文化史的研究
徳川政権の成立過程における関ヶ原の役の政治的位置



文学研究科

日進キャンパス

Graduate School of Letters

文学研究科は4専攻を開設し

人間の営為とその所産である文化の研究を通して人間を探求する

高度な職業人および研究者の育成に努めています。

研究対象は、未知なる、人間の営為とその所産の文化。 課題研究の喜びを感じられる指導態勢を整えています。

文学研究科は、4専攻を開設しており、その教育・研究理念は、人間がこれまでの営みを通して築き上げてきた文化と歴史的遺産を探究することによって、人間や人間社会の本質を知り、より人間性にあふれた社会の創出に役立てることにあります。例えば、宗教学仏教学専攻が研究対象にする宗教とは、人びとの生活や民族性と密接にかかわっており、人間の文化的営みそのものを反映しているだけでなく、社会が形成する価値観にも強く影響しています。そのため、海外の文化や地域性の理解につながる宗教を対象とした研究活動は、グローバル化が進む現代社会の諸課題を解決するにあたってさらに重要性を増しているといえます。

歴史学専攻では、日本や世界各国の歴史について比較研究したり、文化・経済・政治などの視点から見つめたりすることで、それぞれの独自性を深く理解することを大きな目標にしています。本専攻では考古学研究も充実しており、先史考古学と歴史考古学の観点から研究できます。さまざまな時代に地球上で暮らした人々の遺したモノなどを足がかりに、当時の生活・文化・社会を推測し、現在そして未来に活かすことを目的にしています。

英語圏文化専攻では、主な研究対象地域をアメリカ・イギリス・その他の広域英語圏とし、英語学・英米文学研究・英語教育学また英語圏の学際的な地域研究を通してグローバル化した社会で活躍できる人材の育成を目指しています。英語によるコミュニケーション能力を向上させるためには、文化や歴史の深い知識が欠かせません。地域研究・文化交流・文化摩擦などの多彩な視点から学際的な研究ができることが、この専攻の特色です。

日本文化専攻では、日本文化について総合的に研究することで、世界に向けて日本文化を適切に情報発信できる人材の育成に努めています。多岐にわたる日本の文化について、言語学・文学・宗教・思想史・美術・社会学・民俗学などの多様な学問の研究手法と成果を活用して究明しつつ、総合的に理解できるのが特徴です。日本の新しい文化の創造者を目指すこともできます。

文学研究科では、これまで中国・韓国・ベトナム・スリランカ・バングラデシュ・ネパールなどのアジアの国々を中心に、留学生を受け入れてきました。留学生の出身地の文化や地域性について、授業のなかでの情報交換や議論を通して、それぞれの価値観や考え方の違いを体験でき、日本の文化への新たな視点も生まれます。

大学院における研究とは、教員と院生の密接な結びつきのもと、院生自らが研究課題を見つけ、その課題を解明するために資料や文献を探したり、フィールド調査などを行うといった、真理や真実を解き明かす喜びをあじわえる活動です。文学研究科の4専攻では、院生が教員に相談しやすい環境づくりを重視しており、院生が課題研究に主体的・自主的に取り組み、研究成果を上げることの喜びを感じられるようにきめ細かに指導しています。誰もが究明し得なかった課題に対する解決の道筋を見いだすことは、社会の発展につながるばかりでなく、院生自らのやりがいと自信にもつながっています。

宗教学仏教学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(文学)	博士(文学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	4人

歴史学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(文学)	博士(文学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	5人
取得可能な資格	中学校教諭専修免許状(社会) 高等学校教諭専修免許状(地理歴史)	

英語圏文化専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(文学)	博士(文学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	5人
取得可能な資格	中学校教諭専修免許状(英語) 高等学校教諭専修免許状(英語)	

日本文化専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(文学)	博士(文学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	5人
取得可能な資格	中学校教諭専修免許状(国語) 高等学校教諭専修免許状(国語)	

宗教学仏教学専攻 ▶博士前期課程 博士後期課程

人間の文化的営みを反映する宗教について 仏教学、禅学、宗教学から追究

研究分野は「仏教学」「禅学」「宗教学」の三分野に重点を置いており、文献研究を中心にそれぞれの真理を追究していきます。研究する文献は、サンスクリット語・パーリ語・チベット語・漢文で書かれていることから、研究の基礎力を図る目的で各言語の習得を重視しています。研究テーマによっては、これらの言語習得は大変重要なポイントになります。

また、英語文献による日本の宗教文化を紹介する「Japanese Religions」(宗教学仏教学特講(Ⅲ))は、全研究科の院生が聴講できるユニークな科目になっています。

○博士前期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○ 仏教学佛教史学研究	講義 演習	4 8	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4・演習8)を必修すること。
○ 禅学禪思想史研究	講義 演習	4 8	(2) 専修科目以外の科目から24単位(講義20・特講4)以上を選択履修すること。
○ 宗教学宗教史学研究	講義 演習	4 8	(3) 修士論文は専修科目によつて作成すること。
仏教学佛教史学研究	講義	4	(4) 単位履修方法 第1年次 24単位 専修科目 講義4 演習4 専修科目以外の科目 講義12 特講4
禅学禪思想史研究	講義	4	第2年次 12単位 専修科目 演習4 専修科目以外の科目 講義8
宗教学宗教史学研究	講義	4	(5) 臨床宗教師養成科目は修了要件単位数に含めない。
宗教学仏教学特講	講義	4	
宗教学仏教学特講	講義	2	
臨床宗教師養成科目	臨床宗教学研究Ⅰ	講義	2
	臨床宗教学研究Ⅱ	講義	2
	臨床宗教学研究Ⅲ	講義	2
	臨床宗教学実習Ⅰ	実習	2
	臨床宗教学実習Ⅱ	実習	2

○博士後期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○ 仏教学佛教史学研究	研究指導	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。
○ 禅学禪思想史研究	研究指導	12	(2) 研究指導以外の科目から4単位以上選択履修すること。
○ 宗教学宗教史学研究	研究指導	12	(3) 合計16単位以上修得すること。
宗教学仏教学研究特講	講義	4	(4) 博士論文は専修科目によつて作成すること。

日本、東洋、西洋の成り立ちを 文化・政治・経済・考古学の視点から究明

歴史学の伝統的な分野の「日本史」「東洋史」「西洋史」の三分野について、それぞれ文化史・政治史・政治経済史・社会経済史などの視点から研究を進めています。加えて、イスラム世界とヨーロッパ世界の交渉史をイスラム世界サイドから見た「イスラム圏史研究」および、「モノ」を通して先史考古学や歴史考古学の観点から研究する「考古学研究」も設置し、広い視野に立った歴史観に基づく充実した研究を進めることができます。

○博士前期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○ 日本史研究(I) (文化史研究)	4 8	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4、演習8)を必修すること。 (2) 専修科目以外の科目から24単位(講義20・特講4)以上を選択履修すること。 (3) 修士論文は専修科目によって作成すること。 (4) 単位履修方法 第1年次 24単位 専修科目 講義4 演習4 専修科目以外の科目 講義12 特講4 第2年次 12単位 専修科目 演習4 専修科目以外の科目 講義8
○ 日本史研究(II) (社会経済史研究)	4 8	
○ 日本史研究(III) (政治史研究)	4 8	
○ 東洋史研究(I) (文化史研究)	4 8	
○ 東洋史研究(II) (社会経済史研究)	4 8	
○ 西洋史研究(I) (文化史研究)	4 8	
○ 西洋史研究(II) (政治経済史研究)	4 8	
○ イスラム圏史研究	4 8	
○ 考古学研究(I) (先史考古学研究)	4 8	
○ 考古学研究(II) (歴史考古学研究)	4 8	
日本史特殊研究	4	
東洋史特殊研究	4	
西洋史特殊研究	4	
イスラム圏史特殊研究	4	
考古学特殊研究	4	
歴史学特講	4	

○博士後期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○ 日本史研究(I) (文化史研究)	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。 (2) 研究指導以外の科目から4単位以上選択履修すること。 (3) 合計16単位以上修得すること。 (4) 博士論文は専修科目によつて作成すること。
○ 日本史研究(II) (社会経済史研究)	12	
○ 日本史研究(III) (政治史研究)	12	
○ 東洋史研究(I) (文化史研究)	12	
○ 東洋史研究(II) (社会経済史研究)	12	
○ 西洋史研究(I) (文化史研究)	12	
○ 西洋史研究(II) (政治経済史研究)	12	
○ イスラム圏史研究	12	
○ 考古学研究(I) (先史考古学研究)	12	
○ 考古学研究(II) (歴史考古学研究)	12	
歴史学研究特講	4	

文学研究科

英語圏文化専攻 ▶ 博士前期課程 博士後期課程

アメリカ、イギリスを中心とする英語圏文化を多面的に研究し、今日的課題の解決力を養成

英語圏文化専攻では、「アメリカ」「イギリス」はもとより「広域英語圏」の国・地域について、幅広い視野から探究します。また「英語教育」についても、深く学ぶことができます。

アメリカ、イギリス、そして広域英語圏の文化・社会の研究では、歴史学、社会学、比較文化学、地域研究、文学研究などの多様なアプローチ法を学び、それぞれの社会・文化に対する深い理解につなげます。グローバル化の進む世界における多民族・多文化共生の理想と現実、社会階層や格差の問題などを分析し、理解する力を養います。また、文学・文化研究の領域では、英米を中心に、英語で書かれた多彩な文学作品のテクストを正確に読み取る力を高め、作品が作り出された背景についても研究を進めることができます。英語学・英語教育の領域では、英語ということばの仕組みや第二言語習得について学びます。中高英語教員の専修免許も取得可能です。

いずれの領域も、英語という言葉自体への興味を深め、英語で書かれた多様な資料の読解を通して、英語圏文化の研究に必要な英語力の向上を図ります。

○博士前期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○ 英語英文学研究(I)	講義 演習	4 8	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4・演習8)を必修すること。 (2) 専修科目以外の科目から24単位(講義20・特講4)以上を選択履修すること。 (3) 修士論文は専修科目によつて作成すること。 (4) 単位履修方法 第1年次 24単位 専修科目 講義4 演習4 専修科目以外の科目 講義12 特講4
○ 英語英文学研究(II)	講義 演習	4 8	第2年次 12単位 専修科目 演習4 専修科目以外の科目 講義8
○ 英語英文学研究(III)	講義 演習	4 8	
○ 英語英文学研究(IV)	講義 演習	4 8	
○ 英語英文学研究(V)	講義 演習	4 8	
○ 英語圏文化研究(I)	講義 演習	4 8	
英語圏文化研究(II)	講義	4	
○ 英語圏文化研究(III)	講義 演習	4 8	
○ 英語圏文化研究(IV)	講義 演習	4 8	
○ 英語圏文化研究(V)	講義 演習	4 8	
○ 英語圏文化研究(VI)	講義 演習	4 8	
○ 英語圏文化研究(VII)	講義 演習	4 8	
英語圏文化研究(VIII)	講義	4	
英語圏文化特講	講義	4	

○博士後期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○ 英語圏文化研究(I)	研究指導	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。 (2) 研究指導以外の科目から4単位以上選択履修すること。 (3) 合計16単位以上修得すること。 (4) 博士論文は専修科目によつて作成すること。
○ 英語圏文化研究(II)	研究指導	12	
○ 英語圏文化研究(III)	研究指導	12	
○ 英語圏文化研究(IV)	研究指導	12	
○ 英語圏文化研究(V)	研究指導	12	
英語圏文化研究特講	講義	4	

日本文化専攻 ▶ 博士前期課程 博士後期課程

日本文化を総合的に研究できるのが特色。
日本文化の発信者、創造者、研究者を目指す

「日本語」「日本文学」をはじめ、「仏教文化」「社会学」「民俗学」「日本思想史」などの多様な学問を通して、総合的に日本文化について研究できるのが特色です。

その内容は、日本語の音声や表現の研究、平安文学研究、古代から近代までの文学作品の比較研究、仏教思想や仏教美術を通した日本文化研究、近世・近代の思想史研究など、多岐にわたっています。また、家族や結婚の視点から日本文化をとらえる社会学研究、衣食住・儀礼・口承文芸などの視点から日本文化をとらえる民俗学研究も充実しています。

○博士前期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○日本文学研究Ⅰ	講義 演習	4 8	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4、演習8)を必修すること。 (2) 専修科目以外の科目から24単位(講義20・特講4)以上を選択履修すること。 (3) 修士論文は専修科目によって作成すること。 (4) 単位履修方法 第1年次 24単位 専修科目 講義4 演習4 専修科目以外の科目 講義12 特講4 第2年次 12単位 専修科目 演習4 専修科目以外の科目 講義8
○日本文学研究Ⅱ	講義 演習	4 8	
○日本語研究Ⅰ	講義 演習	4 8	
○日本語研究Ⅱ	講義 演習	4 8	
○日本文化研究Ⅰ	講義 演習	4 8	
○日本文化研究Ⅱ	講義 演習	4 8	
○日本文化研究Ⅲ	講義 演習	4 8	
○日本文化研究Ⅳ	講義 演習	4 8	
○日本文化研究Ⅴ	講義 演習	4 8	
○日本文化研究Ⅵ	講義 演習	4 8	
日本文化特講	講義	4	

○博士後期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○日本文化研究(Ⅰ)	研究指導	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。 (2) 研究指導以外の科目から4単位以上選択履修すること。 (3) 合計16単位以上修得すること。 (4) 博士論文は専修科目によって作成すること。
○日本文化研究(Ⅱ)	研究指導	12	
○日本文化研究(Ⅲ)	研究指導	12	
○日本文化研究(Ⅳ)	研究指導	12	
○日本文化研究(Ⅴ)	研究指導	12	
日本文化研究特講	講義	4	

心身科学研究科

日進キャンパス

Graduate School of Psychological and Physical Science

心理学専攻と健康科学専攻の2専攻を開設。

心理学専攻では心理学専門家と公認心理師・臨床心理士を目指せるコースを開設し

健康科学専攻では言語聴覚士や管理栄養士向けコースも開設しています。

人の健康に役立つ心身科学研究で、自らも幸せに— 高度専門職業人と先端領域の研究者を目指せます。

心身科学研究科は、人間への科学的探究を心身という「こころ」と「からだ」の二方向から実証的に進めていくことで、人の健康に広く貢献することを目的にしています。心理学的視点と身体学的視点とを融合して研究に取り組めるのが特色です。心理学専攻と健康科学専攻の二専攻を開設していますが、その専門領域は幅広く、またそれぞれの領域における専門性が高いことから、これらが融合した新たな研究成果に寄せられる期待も高まっています。いずれの専攻にも博士後期課程を開設しており、専門的な知識と技術を習得し、先端的領域の研究者を目指すことができます。

博士前期課程では、高度専門職業人の育成にも力を入れており、心理学専攻の臨床心理学コースでは、スクールカウンセラー、児童福祉施設などで活躍する心理支援員、心療内科などの病院で活躍する心理技術者となる公認心理師・臨床心理士を養成しています。

健康科学専攻では、地域や教育現場で活躍する健康の維持・向上の指導者、健康・バイオ産業における高度技術者、言語聴覚病態治療ができる次世代型の言語聴覚士、医学知識などに精通した管理栄養士の養成にふさわしいカリキュラムを提供しています。

心身科学は、科学的実証性を重んじるという、実践の学問ですから、いずれも臨床現場に直結しています。人の健康や幸せにつながっていることを実感しながら、学習・研究に取り組める、やりがいのある分野です。

心理学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(心理学)	修士(心理学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	20人	4人
取得可能な資格	公認心理師・臨床心理士受験資格 (臨床心理学コース)	

健康科学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(健康科学)	修士(健康科学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	4人
取得可能な資格	中学校教諭専修免許状 (保健体育・保健) 高等学校教諭専修免許状 (保健体育・保健) 養護教諭専修免許状 栄養教諭専修免許状	

心理学基礎コース

心の仕組みを多様な心理学研究成果から理解し
幅と奥行きのある心理学の専門家を目指す

学べる領域は心理学の基礎となる6分野

心理学の専門性を養いつつ幅広い分野を学べる

心の問題を解決しようとする心理学の研究分野は、心のメカニズムが複雑であるため、心に起因する事象は多様に広がっています。心理学基礎コースは幅広い心理学研究領域の中でも特に重要度が高い6分野について、専門的に学べる点が特色です。「実験心理学」「計量心理学」「社会心理学」「産業心理学」「人格心理学」「臨床心理学」を心理学研究基幹科目として、心の専門家にふさわしい幅広い知識と技術の基礎を身に付けられるようにしています。

そして、専門分野を確立するため「実験心理学」「計量心理学」「社会心理学」「産業心理学」の4つの心理学特修科目から1つを選択します。これらの科目はいずれも演習形式で実施され、講義等で身に付けた基礎知識を研究に応用する実践力の養成を目的とします。



「心身科学総論・特論」は本学独自の科目

「こころ」と身体の相互作用を理解する

「心身科学総論・特論」では、多様に広がる心の問題や新たな心の諸問題を適切に対処できる基盤作りを目的として、医療、スポーツ、産業などの関連領域から、心の仕組みを理解していきます。

また「精神生理学特論」では、感覚・知覚、記憶、言語、感情の機能を支える脳の仕組みを理解し、心と身体の相互作用をイメージできることを目指していきます。神経系の働きが事象関連電位や自律神経反応などの生体信号にどのように反映されるのか、その測定・分析方法などの生理心理学的研究法を学びます。

データからこころを読み取る

「計量心理学研究」

「こころ」のしくみを議論するためには、実験や調査、面接、観察などに基づいて得られたデータの統計的解析が必須です。大学院ではデータサイエンスの手法であるさまざまな多変量解析について専門的に学び、その理論と分析方法を習得します。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

区分	特修 科目	授業科目	講義 (春)	講義 (秋)	演習
心理学特修科目	○ 実験心理学研究Ⅰ				8
	○ 実験心理学研究Ⅱ				8
	○ 実験心理学研究Ⅲ				8
	○ 計量心理学研究				8
	○ 社会心理学研究				8
	○ 産業心理学研究				8
心理学研究基幹科目	実験心理学研究Ⅰ・a・b	2	2		
	実験心理学研究Ⅱ・a・b	2	2		
	実験心理学研究Ⅲ・a・b	2	2		
	計量心理学研究a・b	2	2		
	社会心理学研究a・b	2	2		
	産業心理学研究a・b	2	2		
	人格心理学研究Ⅰ-a・b	2	2		
	臨床心理学研究a・b	2	2		
心身科学総論・特論	心身科学総論	2			
	心身医学特論		2		
	精神医学特論	2			
	精神生理学特論		2		
研究支援科目	文献講読a・b	2	2		

■心理学専攻博士前期課程基礎系コースの履修方法について

- (1)心理学基礎コースの院生は当該コースの特修科目（修士論文ゼミナー）の中から1科目選定して専修科目とする。修士論文は専修科目によつて作成すること。
- (2)専修科目的演習8単位（1年次演習4単位、2年次演習4単位）を必修とする。
- (3)専修科目授業は、4単位制で進める。
- (4)専修科目は、入学後にコース選択理由書及び研究計画書をもとに決定する。
- (5)1年次春学期に選択した専修科目は、1年次秋学期に変更することができる。その後の変更は、特別な事情がない限り認めない。
- (6)修了要件単位は、専修科目（演習8単位）を必修とし、心理学研究基幹科目のいずれか4単位以上を含めて36単位とする。
- (7)心理学基礎コースの院生は、入学後、臨床心理学コースへの転入はできない。

修了要件

- (1)心理学特修科目の中から1科目を選定し、専修科目とする。
 - (2)修士論文は、専修科目によって作成すること。
 - (3)修士修了要件は、専修科目演習8単位を必修とし、心理学研究基幹科目または臨床心理学基幹科目の中から、いずれか4単位以上を含めて、36単位以上修得すること。

臨床心理学コース

臨床心理学に裏付けられた専門的知識と技術を持つ
心の問題の解決にあたる公認心理師・臨床心理士を目指す

所定の要件を満たすことにより

公認心理師・臨床心理士の受験資格が取得可能

臨床心理学コースは公認心理師に対応したカリキュラムを整えています。また、臨床心理士養成に特化したカリキュラムを組んでおり、本コースを修了し所定の要件を満たすことによって、公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会が行う臨床心理士試験の受験資格を得ることができます。また、本コースは同協会から「第1種指定大学院」の認定を受けていることから、修了後1年以上の実務経験を要することなく、受験資格を得られるのが特徴です。

公認心理師・臨床心理士とは、何らかの要因で心に重荷を抱える人の相談や援助に当たる“心の専門家”で、臨床心理学に裏付けられた知識や技術を用いて適切な対応を共に模索する専門職です。

教育、医療、司法、産業、福祉など

多岐にわたる公認心理師・臨床心理士の活躍分野

SNSやウェブ会議などのオンラインツールの普及により社会の仕組みや仕事の内容が複雑になり、ライフスタイルが変化するなか、子どもから高齢者まで心に重荷を抱える人は増える傾向にあります。不登校、幼児虐待、家庭内暴力、高齢者の孤立などにより、公認心理師・臨床心理士が活躍する場は、教育、医療、司法、産業、福祉など多岐にわたっています。

教育分野では、全国の公立学校のスクールカウンセラー（学校カウンセラー）のほか、私立学校の小・中・高・大学の相談室も活躍の場になっています。医療分野では、精神科や心療内科など、司法分野では裁判所や矯正施設など、地方自治体の保健センターや就労・リワーク施設、福祉関連施設など、活躍の場が広がっています。

理論と実務の基礎・応用を養うカリキュラム

実習施設「心理臨床センター」も充実

本コースでは理論と実務の両面にわたる基礎と応用をしっかりと養えるようにしています。例えば相談者（クライエント）のカウンセリングに当たっては、心理テストなどを用いての心理検査や面接検査を行った上で、臨床心理学に基づく面接援助技法を活用し、的確な対応が求められます。そこで「臨床心理学基幹科目」により基礎を固め、演習形式授業の「心理学特修科目」で応用力を養います。

実務経験を重ねることも大切だと考え、実習科目も充実させています。さらに、「基礎実習」を受けた後に、「実習II（ケース・カンファレンス）」を受講するようにし、実習教育の成果を高められるようにしています。また、「心理実践実習I・II」という学内実習に加えて「心理実践実習III」ではさまざまな領域での学外実習を行います。日進キャンパスには「心理臨床センター」を開設するなど、実習環境を充実させています。

臨床心理学を学問的基盤として、相談者が抱える種々の精神疾患や心理的問題の援助・解決・予防と、精神的健康の保持・増進・教育に貢献する公認心理師・臨床心理士の養成に取り組んでいます。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

区分	特修科目	授業科目	講義(春)	講義(秋)	演習	実習
心理学 特修科目	○ 臨床心理学研究I				8	
	○ 臨床心理学研究II				8	
	○ 臨床心理学研究III				8	
	○ 臨床心理学研究IV				8	
	○ 臨床心理学研究V				8	
	○ 臨床心理学研究VI				8	
	○ 人格心理学研究I				8	
	○ 人格心理学研究II				8	
臨床心理士資格審査規定の必修科目	臨床心理学特論I		2			
	臨床心理学特論II		2			
	臨床心理面接特論I⑦・II			2		
	臨床心理検定演習I⑥				2	
	臨床心理検定演習II				2	
	臨床心理基礎実習				2	
	臨床心理実習II				2	
	臨床心理実習I(⑩心理実践実習II)				2	
公認心理師対応実習科目	⑩心理実践実習IIIa				1	
	⑩心理実践実習IIIb				1	
	⑩心理実践実習IIIc				1	
	⑩心理実践実習IIId				1	
	⑩心理実践実習IIIe				1	
	⑩心理実践実習I				2	
	心理学研究法特論	2				
	A群 心理統計法特論		2			
臨床心理士資格審査規定の選択必修科目	臨床心理学研究法特論	2				
	B群 認知心理学特論		2			
	人格心理学特論⑨	2				
	C群 コミュニケーション心理学特論⑧		2			
	産業・組織心理学特論⑤	2				
	産業臨床心理学特論⑤	2				
	犯罪心理学特論④		2			
	D群 障害者(児)心理学特論②	2				
心身科学総論・特論	心身医学特論①		2			
	精神生理学特論①		2			
	精神医学特論①	2				
	E群 心理療法特論II(臨床動作法)	2				
	心理療法特論III(認知行動療法)		2			
	学校臨床心理学特論③	2				
	臨床心理地域援助特論⑧		2			
	心身科学総論	2				
研究支援科目	文献講読a・b	2	2			

※公認心理師の受験には、学部教育でカリキュラム（経過措置を含む）指定科目の単位取得が必要となります。

■心理学専攻博士前期課程臨床心理学コースの履修方法について

【公認心理師・臨床心理士共通】

- (1)臨床心理学コースの院生は当該コースの特修科目の中から1科目選定して専修科目とする。修士論文は専修科目によって作成すること。
- (2)専修科目的演習8単位(1年次演習4単位、2年次演習4単位)を必修とする。
- (3)専修科目的授業は、4単位制で進める。
- (4)修士論文は、臨床心理学に関連するテーマで作成すること。
- (5)研究内容、研究方法などによっては、(1)の専修科目指導員に加えて、基礎系の教員の指導を受けて修士論文を作成することも出来る。
- (6)上記(5)の場合、専修科目に加えて、その基礎系の教員が担当する特修科目(演習)を少なくとも4単位履修すること。
- (7)専修科目の決定は、上記(6)の基礎系教員の特修科目を含め、入学後にコースの選択理由書及び研究計画書をもとに決定する。
- (8)1年次春学期に選択した専修科目は、1年次秋学期に変更することができる。
- (9)心理実践実習Ⅲa～e(学外実習)は、修了要件単位に含めることができる。
- (10)修了要件単位は、専修科目(演習8単位)を必修とし、臨床心理学基幹科目4単位を含めて36単位以上とする。
- (11)心理学基礎コースからのコース変更や、他専攻、他大学大学院からの、臨床心理学コースへの転入を認めない。
- (12)臨床心理学コースに属する院生の他は、臨床心理学基幹科目、および、臨床心理学特論(臨床心理士資格審査規定による選択必修科目)の中のE群を履修することはできない。
- (13)臨床心理士受験資格を取得していない非正規生(研究生、聴講生、科目等履修生)の履修は認めない。

【実習費等】

- (1)公認心理師や臨床心理士受験資格のための実習について別途定める金額(4万円:前年度実績)を入学年度初めに納めていること。
- (2)上記以外にも、実習施設によっては別途費用(給食費等)が実費として必要になる。

【公認心理師受験資格を得るために】

- 左記【公認心理師・臨床心理士共通】の履修方法に加えさらに下記が必要
- (1)学部段階での必要科目を履修して卒業していることを証明する書類(履修証明書)を出身大学から得ること。
 - (2)①～⑩の科目で各種類の単位取得をすること。
 - (3)①～⑨の同じ種類に属する科目は、複数単位取得する必要はない。ただし、⑩は時間数が重要になるので「心理実践実習Ⅰ・Ⅱ」の単位取得をすること。
 - (4)「心理実践実習Ⅲa(医療領域学外実習)」の単位取得をすること。
 - (5)「心理実践実習Ⅲb～e」では少なくとも2種類の単位取得をすることが望ましい。
 - (6)「心理実践実習Ⅲa～e」の単位認定は、それぞれでなされる。ただし、同じ領域の履修登録を2回行っても単位認定は計算されない。
 - (7)「心理実践実習」全体の実習時間を450時間以上行うこと。
 - (8)「心理実践実習Ⅱ・Ⅲa～e」において「担当ケースに関する実習」を270時間以上行うこと。うち「心理実践実習Ⅲa～e」における「担当ケースに関する実習」を90時間以上行うこと。
 - (9)臨床心理士受験資格指定必修科目「臨床心理基礎実習」「臨床心理実習Ⅱ」も単位取得することが望ましい。
 - (10)国家試験対策を考えて上記以外の科目も幅広く履修することが望ましい。
 - (11)本学大学院としての「履修証明書」の発行を受けること(費用は別途記載)。

【臨床心理士受験資格を得るために】

- 左記【公認心理師・臨床心理士共通】の履修方法に加えさらに下記が必要
- (1)心理実践実習Ⅲa～e(学外実習)は、臨床心理士資格審査規定の必修科目には含まれないが、臨床心理士受験資格取得を目指す場合、履修し単位取得することが望ましい。
 - (2)臨床心理士受験資格を取得するためには、①修士修了要件を満たし、②心理実践実習Ⅰ及びⅢa～eを除く臨床心理学基幹科目(臨床心理士資格審査規定による必修科目)18単位を必ず取得し、かつ③臨床心理学特論(臨床心理士資格審査規定による選択必修科目)のA～E群からそれぞれ最低1科目、合計5科目以上、10単位以上を取得しなければならない。
 - (3)E群の履修科目を公認心理師科目として読み替える場合には、その科目は臨床心理士資格審査規定の選択必修科目として履修認定されないので、E群からさらに1科目を取得すること。

修了要件

- (1)心理学特修科目の中から1科目を選定し、専修科目とする。
 - (2)修士論文は、専修科目によって作成すること。
 - (3)修士修了要件は、専修科目演習8単位を必修とし、心理学研究基幹科目または臨床心理学基幹科目の中から、いずれか4単位以上を含めて、36単位以上修得すること。

心理学専攻 ▶ 博士後期課程

心理学の主要領域に精通した研究者を養成。
公認心理師・臨床心理士などを養成する指導者も目指せる

博士後期課程ではコース分けをせずに、心理学の主要領域になっている実験心理学、計量心理学、社会心理学、産業心理学、発達心理学、人格心理学、臨床心理学の各領域から、興味を持った領域について深く追求できる体制を整えています。そして充実した実験設備を整え、研究者養成のための高度な専門教育を提供しています。

また、臨床心理士をはじめとした専門家の育成にあたることのできる指導者・研究者も養成しています。心の重荷に苦しむ人が増える傾向にあることは、その解決援助に当たる臨床心理士などの心の専門家の必要性の高まりを意味します。こうした社会的なニーズを受け、臨床心理士などの心理学の専門家を養成するのにふさわしい学識・技術・人間性を養えるようにし、優れた指導者・研究者を輩出しています。

特に、公認心理師・臨床心理士としての研鑽は資格取得後も続きます。博士後期課程では臨床現場で働きながらさらに高度な専門技能を磨くための機会を提供します。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

	授業科目	単位数	備考
心理学 特修科目	○実験心理学研究	研究指導 12	○印は特修科目 (1)心理学特修科目の中から1科目を選定し、専修科目とする。 (2)専修科目の研究指導を必修とする。 (3)博士論文は、専修科目によって作成すること。 (4)単位履修方法 ・心理学特修科目の研究指導を第1年次から第3年次で12単位以上修得すること(ただし各年次4単位)。 ・心理学研究特講4単位を修得すること。 ・合計16単位以上修得すること。
	○社会心理学研究	研究指導 12	
	○産業心理学研究	研究指導 12	
	○臨床心理学研究	研究指導 12	
心理学 研究 特講	心理学研究特講	講義 4	

健康科学専攻 ▶博士前期課程

新しい「健康科学」による高度な教育・研究で 人の健康に貢献できる専門職業人と研究者を養成

健康科学専攻では、健康を「心身ともに健やかで、社会的にも活力のある状態」ととらえ、内科学などの臨床医学、ゲノム医科学をはじめとする基礎医学、臨床疫学、歯科学、スポーツ医学、運動生理学、心理学、看護学、教育学、栄養学といった広範囲な学問をベースに、新しい「健康科学」の確立に向けた高度な教育・研究にあたっています。健康づくりに関する最新の知識・技能だけでなく、深い教養、社会の変化に対応し得る幅広い視野と総合的な判断力、豊かな創造性を養えるように指導しているのが特徴です。

修了後は、医療・保健・健康増進と健康教育などの多様な分野で指導者として活躍できる高度な専門職業人の養成を目標にしています。併せて、スポーツ医科学、運動生理学、運動生化学、運動疫学、健康教育学（養護教諭）、分子健康科学、言語聴覚学、栄養学などの領域における研究者養成も目的にしています。

専門性を高められる6コースを開設

言語聴覚士や管理栄養士向けのコースも

(1) 健康スポーツ科学コース

運動を通じた健康増進をキーワードにした複数プログラムを設置し、基礎から臨床まで院生の興味に応じて学習・研究できるようにしています。

(2) 健康教育科学コース

「健康教育評価学研究」「地域健康教育学研究」のいずれかを必修選択しています。「健康教育評価学研究」では健康の阻害要因の解析方法や健康教育プログラムなどの健康改善方法を主に研究し、「地域健康教育学研究」では地域における保健・医療・福祉・教育のネットワーク化などの取り組みを主に研究しています。

(3) 精神健康科学コース

精神健康科学コースでは、メンタルヘルスをキーワードとして学びます。心身科学総論、精神健康科学に加え、研究科目として精神健康科学研究は必修です。他の関連科目を受講し知識の幅を広げることも重要です。

(4) 生命健康科学コース

ヒトゲノムをキーワードとして、学習・研究するコースです。「生命健康科学研究」と「生命健康科学講義」を必修にしています。生命科学の進展に伴う、新しい診断と治療法の開発の現状と問題点を理解しながら、院生自らが新診断・治療法の開発に取り組んでいます。

(5) 言語聴覚科学コース

言語・聴覚・認知機能に障害を有する人への、より適切なリハビリテーションのあり方の研究を目的にしています。言語聴覚学的な検査・診断・治療に関する理論を把握し、実践の場で有効となり得る具体的な方法を考究しています。「言語聴覚科学研究」「言語聴覚病態学」を必修にしています。

(6) 健康栄養科学コース

21世紀社会における「健康と栄養」の発展に貢献できるスペシャリストの養成を目指し、最先端の食品学・栄養学について基礎から実践栄養学まで幅広く学べるプログラムを用意しています。また、チーム医療に貢献できる次世代型の管理栄養士を目指す「実践栄養学研究」を開講しています。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

科目区分	授業科目	単位数	備考
基礎健康科学	心身科学総論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○健康スポーツ医学研究Ⅰ	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○健康スポーツ医学研究Ⅱ	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○健康教育評価学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○地域健康教育学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○精神健康科学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○生命健康科学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○言語聴覚科学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○栄養機能学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	○実践栄養学研究	演習 8	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
健康科学研究科目	健康スポーツ医学Ⅰ	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	健康スポーツ医学Ⅱ	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	健康教育評価学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	地域健康教育学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	精神健康科学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	生命健康科学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	言語聴覚病態学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	栄養機能学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	実践栄養学	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	生活習慣病論特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
健康科学基幹科目	健康スポーツ生理学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	スポーツ心理学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	環境健康衛生学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	臨床医療科学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	分子栄養学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	疾患栄養学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	言語聴覚病態学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	健康スポーツ生理学	演習 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	地域健康ネットワーク学	演習 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	生命健康科学	実習 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
健康科学特論・実習	言語聴覚病態学実習	実習 6	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	栄養機能学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	食品機能学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	食育学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	公衆栄養学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	地域栄養学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	ライフステージ栄養学特論	講義 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	健康栄養学実習	演習 2	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	文献講読	講義 4	○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定する。
	研究支援		

健康増進科学研究と 言語遺伝情報研究の2コースを開設

健康増進科学研究は、人の健康増進を目的に、運動や食生活などの生活習慣の改善方法を広く研究する分野です。理論的な追究ばかりでなく、理論を実践する場となる学校・職場・地域における健康教育のための具体的なプログラム開発も指導しています。

言語遺伝情報研究は、現在最も進歩が著しいゲノム科学に立脚した疾患研究を進めている分野です。広範囲にわたる研究が可能ですが、特に脳機能に焦点を当てており、言語聴覚機能の異常と脳内機能分子の関連について深く追究しています。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
健康科学研究科目	○健康増進科学研究	研究指導 12	1.博士前期課程または修士課程で30単位以上修得していること。 2.○印は専攻科目で、健康科学研究科目の中から1科目を選定し、その研究指導12単位及び健康科学特論科目10単位を必修すること。
	○言語遺伝情報研究	研究指導 12	1)博士論文は専攻科目によつて作成すること。 2)単位履修方法 ・専攻科目の研究指導を第1年次から第3年次で12単位修得すること。 ・第1年次で健康科学特論科目10単位を修得すること。 ・合計22単位修得すること。 3.博士論文の審査に合格すること。
健康科学特論科目	先端健康科学特論	講義 4	
	健康科学研究方法論	講義 4	
	健康科学実験方法実習	実習 2	

キャリア・アップを目指す 社会人の方へ

健康科学専攻においては、最近のリカレント教育の推進にも対応するため、社会人大学院生の受け入れについて柔軟に対応しております。心身科学研究科健康科学専攻博士後期課程では、3年間の課程で土曜日集中講義での履修が可能で、またICTを用いた遠隔授業にも必要に応じて対応します。



商学研究科

名城公園キャンパス

Graduate School of Business and Commerce

研究領域はビジネス・エキスパートを目指せる7分野。

各分野の第一線で求められる高度な知識と思考力を身に付けられます。

税理士国家試験の科目免除につながる修士論文指導も充実しています。

商学
研究科

21世紀型ビジネス・エキスパートを目指し、 新しい視点に立った最先端ビジネスを7分野から学べます。

愛知学院大学大学院商学研究科 (Graduate School of Business and Commerce; GSB) は、東海地区における有数の商学系大学院としてこれまで着実に教育研究成果を挙げてきました。1964 (昭和39) 年の開設以来、半世紀以上にわたるGSBのこうした伝統と実績は、学界や実業界からも高い評価を得ています。

GSBは21世紀ビジネスのキー・ワードを、グローバリゼーション、事業リスクファイナンス、情報通信技術 (ICT) ととらえ、21世紀型のビジネス・エキスパートの養成に努めています。GSBが伝統にしている流通およびマーケティング分野、租税法分野、会計分野を基礎にしながら、国際ビジネス分野（グローバリゼーション）、金融分野（リスクファイナンス）、ビジネス情報分野を学べるようにし、21世紀のビジネス動向を先取りした7分野にわたるビジネス・エクスペティーズ（専門知識）を提供しています。

指導に当たる教授陣は、高い研究業績を持つ研究者教員と第一線で活躍する実務家から構成され、特に演習授業は「知的トレーニングの場」になっています。研究者と実務者が連携し合うことで、理論と応用が融合したソリューション・オリエンティッドな実践的ビジネス学を修得できるのが特色になっています。

GSBは伝統と実績を踏まえ、これからも新たな視点を先取りした教育研究を提供することで、グローバル時代をリードしうるビジネス・エキスパートを養成していきます。

商学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(商学)	博士(商学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	5人
取得可能な資格	税理士国家試験の科目免除	
特色	<ul style="list-style-type: none">◎社会人対象の授業を名城公園キャンパスで平日夜間および土曜日に開講◎税理士国家試験の試験科目免除の適用有り(簿記論、財務諸表論のいずれか1科目、または「所得税法、法人税法、相続税法、消費税法又は酒税法、国税徴収法、住民税又は事業税、固定資産税」のいずれか2科目)◎他研究科の授業科目を10単位まで履修可能(経営学研究科、経済学研究科、法学研究科、総合政策研究科)	

商学専攻 ▶博士前期課程

21世紀のビジネス動向を先取りした

7分野のビジネス・エクスパティーズを提供

情報技術の急速な普及は、ビジネスの世界にも大きな影響を与えています。グローバル化を促したり、ビジネスモデルや取引形態を根本から変えさせなど、従来の発想や知識では対応しにくい新しいビジネス時代をもたらしています。

そこでGSBは、新たなビジネス課題に対しても、新しい視点や専門的知識を駆使して解決策を見出すことのできる総合的な学識を7分野から希望にそって身に付けられるようにしています。GSBが伝統的な強みを持つ流通およびマーケティング分野、租税法分野、会計分野を基礎にしながら、国際ビジネス分野、金融分野、ビジネス情報分野を学べるカリキュラムを編成しています。



社会人向けリカレント教育と

税理士資格の取得に結びつく教育が充実

GSBは、これからビジネス界で羽ばたこうとする新規学卒者や研究者を志す人だけでなく、中小企業やベンチャー企業の経営者、会社員、公務員などのビジネスの最前線にいる社会人へのリカレント教育も重視しています。

特に、税理士資格の取得を目指す人のための教育研究指導は、GSBの伝統にもなっており、税理士国家試験科目の税法(所得税法、法人税法、消費税法など)および簿記論、財務諸表論に対応した授業科目が充実しています。これらの科目を履修し、学位取得にかかわる研究が、税法に属する科目または会計学に属する科目であるとの国税審議会の認定を受けた場合には、税理士試験のうち当該科目の免除(税法は2科目、会計学は1科目)を受けることができます。

社会人向けに

平日夜間および土曜日に開講

GSBは、最新のビジネス・エクスパティーズや税理士資格を得ることに意欲的な社会人のために、名城公園キャンパスで授業を平日夜間・土曜日に開講しています。

修了後も同窓生とコンタクトできるように

ビジネス・ネットワーク作りを支援

GSBでは、多様なバックグラウンドを有する社会人や学部卒業生、海外留学生などが学んでいますが、そのつながりを大切にしたビジネス・ネットワーク作りを支援しています。同じ課題を追及することで切磋琢磨し合った仲間と修了後もコンタクトできるようにし、お互いに課題意識を保てるようになっています。併せて、世界に散らばるGSB校友との強固なビジネス関係も築くことができます。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○(流通論研究(I)) ○(流通論)	2 2 8	○印は特修科目 (1)特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4、「春学期2単位」「秋学期2単位」、演習8)を必修すること。 (2)専修科目以外の科目から20単位以上を選択履修すること。 (3)修士論文は専修科目によって作成すること。
○(流通論研究(II)) ○(流通政策)	2 2 8	
○(流通論研究(III)) ○(商業史)	2	
○(マーケティング論研究(I)) ○(マーケティング論)	2 2 8	
○(マーケティング論研究(II)) ○(製品・ブランド戦略論)	2 2 8	
○(国際ビジネス論研究(I)) ○(貿易制度論)	2 2 8	
○(国際ビジネス論研究(II)) ○(ビジネス戦略)	2 2 8	
○(金融論研究(I)) ○(金融システム論)	2 2 8	
○(金融論研究(II)) ○(証券論)	2 2 8	
○(金融論研究(III)) ○(保険論)	2 2 8	
○(会計学研究(I)) ○(財務会計)	2 2 8	
○(会計学研究(II)) ○(会計制度論)	2 2 8	
○(会計学研究(III)) ○(国際会計基準論)	2 2 8	
○(会計学研究(IV)) ○(管理会計)	2 2 8	
会計学研究(V) (税務会計)	2 2	
○(租税法研究(I)) ○(租税法実務)	2 2 8	
租税法研究(II) (個人・企業税務)	2	
租税法研究(III) (取引関係税務)	2	
租税法研究(IV) (租税制度)	2 2	
○(ビジネス情報論研究(I)) ○(情報システム論)	2 2 8	
○(ビジネス情報論研究(II)) ○(データサイエンス)	2 2 8	
○(ビジネス情報論研究(III)) ○(マルチメディア論)	2 2 8	
ビジネス情報論研究(IV) (インターネットビジネス)	2 2	
ビジネス情報論研究(V) (産業連関分析)	2 2	
ビジネス情報論研究(VI) (情報ネットワーク論)	2	
ビジネス情報論研究(VII) (情報セキュリティ)	2	
ビジネス情報論研究(VIII) (システム開発論)	2	
特殊講義	2	
文献講読研究	2 2	

商学専攻 ▶ 博士後期課程

独創性の高い研究成果を導けるように指導し 21世紀の商学をリードできる研究者を養成

GSB博士後期課程は、大学をはじめとした教育・研究機関で教育と研究活動に従事する高度な研究能力をもった人材育成を目指しています。博士後期課程では博士の学位取得が研究目標の一つになりますが、GSBでは指導担当教授との一対一の指導により、学位論文作成と学位取得とを達成できるように支援しています。

研究指導領域は、流通論、マーケティング論、貿易論、国際ビジネス論、金融論、証券論、保険論、財務会計論、管理会計論、ビジネス情報論ですが、いずれもビジネスに直結した変化が激しい分野だけに、新たな知見が求められています。既存の概念を打ち破り、独創性の高い研究を進められるように指導にあたっています。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目		単位数	備考
○ 流通論研究	研究指導	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。 (2) 専修科目の研究指導以外の科目から4単位以上選択履修すること。 (3) 博士論文は専修科目によつて作成すること。
○ マーケティング論研究	研究指導	12	
○ 貿易論研究	研究指導	12	
○ 国際ビジネス論研究	研究指導	12	
○ 金融論研究	研究指導	12	
○ 証券論研究	研究指導	12	
○ 保険論研究	研究指導	12	
○ 財務会計論研究	研究指導	12	
○ 管理会計論研究	研究指導	12	
○ ビジネス情報論研究	研究指導	12	
商学研究特講	講義	4	



経営学研究科

名城公園キャンパス

Graduate School of Management

国際経営、マーケティング、組織・人事、会計ファイナンスなどに精通する
経営実務家を育成するMBAプログラムが充実。
税理士、会計士、経営コンサルタントも目指せます。

■ 経営のエキスパートたる、経営実務家と研究者を養成。
教育・研究指導が一層充実し、ワンランク上を目指せます。

経営学研究科の特色の一つが、プロフェッショナルな高度専門職業人に欠かせない資格の取得に結びついた教育・研究指導です。所定の要件を満たす修士論文を作成することで税理士国家試験の科目免除を受けられるほか、中小企業診断士などの資格取得に向けた講座も充実させています。特に、税理士国家試験の科目免除につながる修士論文の指導教員を3人擁しており、他の大学院には見られない充実度を誇っています。

二つ目の特色は、経営現場で役立つ実践力を養えるカリキュラムが一層充実していることです。例えば、二世経営者を目指す人やチャレンジングなベンチャー企業経営者にふさわしい科目などが充実しています。社会人大学院生向けの科目も、これらにともない大きくレベルアップをしています。また、国際色の豊かな研究科を目指し、海外留学生の受け入れに積極的に取り組んだり、修了後の就職活動を支援するために本学「キャリアセンター」との連携も強化したりしています。

日本の企業は21世紀の今日、経営・市場・経済のグローバル化という激しい競争にさらされており、新しい経営理念や経営戦略を生み出せるかどうかが明暗を分けることになります。経営学研究科では、国際的な視点をもって企業の成長戦略を描ける思考力と学識を養える教育・研究指導を通じて、日本の多様な企業や組織に活力を与えられる経営のエキスパートを目指すことができます。

経営学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(経営学)	博士(経営学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	10人	5人
取得可能な資格	税理士国家試験の科目免除 中小企業診断士 高等学校教諭専修免許状(商業)	
特色	◎社会人対象の授業を名城公園キャンパスで平日夜間および土曜日に開講 ◎税理士国家試験の試験科目免除の適用有り(会計学分野の簿記論、財務諸表論のいずれか1科目) ◎他研究科の授業科目を10単位まで履修可能	

経営学専攻 ▶ 博士前期課程

「専門3領域」+「基礎科目」+「経営実践科目」から 経営の専門性を高められるMBAカリキュラム

新しい経営を導ける力の養成を目指し、3領域から経営の専門性が高められるMBAカリキュラムを編成。「基礎科目」「経営実践科目」と併せて、体系的でバランスのとれた学習・研究を可能にしています。修了することで経営学修士（MBA）を取得できます。



専攻分野は18特修科目から選択

特修科目は講義・文献科目と演習がセットに

修士論文のテーマとして選べる特修科目は18科目で、多様な分野から興味に合わせて専攻分野を選択できるようにしています。各特修科目は、基礎知識を得る「講義科目」、知識の幅を広げる「文献科目」、応用力を養う「演習科目」からなり、専門性を着実に身に付けられるのが特色です。各特修科目には、修了要件単位数(32単位)の5割の16単位を割り当てています。

また、企業の現場を体験できるように「インターンシップ(経営管理特別演習Ⅳ)」を設置し、講義・演習で学んだことを実践したり、経営の生きた姿を学べるようにしています。

高度専門職業人の養成を目指し

社会人のための科目を開設

社会人を対象として手厚く学習・研究できるようにしているほか、最新のビジネス理論や経営実践ケースを学ぶように「経営実践科目」を充実させているのが特色です。さらに企業経営の動向に精通した実務家から、経営戦略などを学べます。

また、税理士国家資格の取得を目指す人、中小企業の事業継承者、企業の中堅管理職を目指す人、創業を志す人など、多様な社会人がそれぞれの夢に向けて学習・研究に取り組んでいます。特に、所定の要件を満たすことで税理士国家試験の試験科目免除を受けられることから、税理士国家資格取得を目指す人が多く集まっています。

税理士、会計士などの

専門職業人を目指すことが可能

カリキュラムは、税理士国家試験の試験科目免除に適応しているほか、公認会計士資格の取得にも対応した内容になっています。

国際感覚の養成につながる留学生との交流や

本学経営学部生が対象の「飛び級制度」も

経営学研究科では、経営学または関連諸領域の基礎的な知識を修得し、さらに高度なレベルに向けて学習・研究しようとする新卒学部生のほか、海外留学生も多く受け入れています。中国をはじめ、東アジア諸国から留学生が集まっている、世界の視点を授業や課外交流を通じて学ぶことができます。

また、大学と大学院が連携した5年間一貫教育体制を整え、所定の要件を満たすことによって大学院1年次に入学できる飛び級制度を、本学経営学部・商学部・経済学部3年生を対象に導入しています。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○ 経営原理研究	4 4 8	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その16単位(講義4、文献4、演習8)を必修すること。 (2) 専修科目以外の科目から16単位以上選択履修すること。 (3) 修士論文は専修科目によって作成すること。
○ 経営管理研究	4 4 8	
○ 経営戦略研究	4 4 8	
○ 経営組織研究	4 4 8	
○ 人的資源管理研究	4 4 8	
○ 国際経営研究	4 4 8	
○ 中小企業経営研究	4 4 8	
○ マーケティング研究	4 4 8	
○ 生産管理研究	4 4 8	
○ 経営情報システム研究	4 4 8	
○ 経営システム工学研究	4 4 8	
○ 経営統計研究	4 4 8	
○ 財務会計研究	4 4 8	
○ 会計・監査研究	4 4 8	
○ 金融管理研究	4 4 8	
○ 原価計算・管理会計研究	4 4 8	
○ 財務管理研究	4 4 8	
○ 税務会計研究	4 4 8	
経営管理特別研究	2	
研究支援科目	2	
特殊講義	4	

経営学の研究者として 自立できる高度な研究能力を養う

博士後期課程は、経営学に関する独創性に富む研究成果を生み出し、さらにそれを継続的に深化・発展させられる研究者の育成を目指しています。経営学に関する高度に専門的な学識と、国内外の文献・資料・データを一貫した論理性をもって整理・統合できる能力を身に付けた、研究者として自立できる研究能力を養成しています。

大学をはじめとする研究機関や企業等において継続的に研究活動に従事することを強く希望する人を積極的に受け入れています。

3研究領域の中から研究指導科目を選択

学際的な研究活動も可能です

研究指導領域は、博士前期課程で学習・研究したテーマをより深められるように、組織マネジメント、生産マーケティングおよび会計ファイナンスの3領域から選択できます。

博士論文の作成に当たっては、学際的に研究を進められるように、主専攻領域の担当教員のほか、講義を受講することで他領域の教員に相談することも可能です。

独創性に富んだ研究成果となるように

複数の論文チェック機会を設定

指導担当教員によるきめ細かな研究指導と、関連領域の教員との研究交流を通じて研究能力を高めながら、研究成果を学会や専門誌で発表する機会を多く設けるようにしています。

また、独創性に富んだ研究成果をあげられるように、博士論文の作成プロセスとして事前審査、中間報告会、予備審査、本審査など、複数の論文チェック機会を設けています。こうして多様な視点や知見を取り入れながら、新しい経営学理論の創出に取り組むことができます。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○ 経営原理研究	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。 (2) 研究指導以外の科目(講義または文献)から4単位以上選択履修すること。 (3) 博士論文は専修科目によって作成すること。
○ 経営管理研究	12	
○ 経営戦略研究	12	
○ 経営組織研究	12	
○ 人的資源管理研究	12	
○ 国際経営研究	12	
○ 中小企業経営研究	12	
○ マーケティング研究	12	
○ 生産管理研究	12	
○ 経営情報システム研究	12	
○ 経営システム工学研究	12	
○ 経営統計研究	12	
○ 会計学原理研究	12	
○ 会計・監査研究	12	
○ 金融管理研究	12	
○ 原価計算・管理会計研究	12	
○ 財務管理研究	12	
○ 税務会計研究	12	
経営学特論	4	
文献講読	2	



経済学研究科

名城公園キャンパス

Graduate School of Economics

経済のグローバル化を事業発展、行政改革、ビジネスなどのチャンスととらえて、高度な専門的経済的知力を身につけ、グローバルな視野を持って、地域経済の中で活躍したい人のための教育を提供します。

グローバル化する市場経済への対応が迫られる中、 地域の経済社会に貢献する高度専門職業人を養成します。

2017年4月に開設した愛知学院大学大学院経済学研究科は、グローバル経済の中で海外市場を目指す地域企業や海外企業の活力を国内に取り込もうとする地域企業に有効な、知識と事業発想力を得られる教育研究を展開していきます。もう一つの柱は、国や地方自治体などの行政機関において、これから日本を導くための政策を立案し実行するのに欠かせない幅広い視野と専門性を身につけられる教育研究です。

そのため指導に当たる教員と開講科目、指導体制を充実させています。教員陣は1学年7人の定員に対して専任教員17人、兼任教員3人の20人にのぼり、少人数教育と個別指導を受けることができるほか、経済、金融、会計、財政、政策、租税法の各分野を専門的に学ぶことができます。

経済学分野であれば、アジア経済を中心とする新興工業国あるいは発展途上国とつながりを持ち、自社の事業拡大を狙うために欠かせない国際経済をはじめ、ものづくり産業の集積地でもある名古屋エリアにおける企業の創造的発展を考える地域経済、環境や農業に関わる事業の発展に役立つ環境経済や農業経済などを学ぶことができます。金融分野であれば日本の金融システムとグローバル金融について、会計分野であれば日本の企業会計制度と国際財務報告基準、税務会計、財務会計について、政策分野であれば財政と税制、雇用、社会保障などについて専門的に学べます。

また、税理士、財務専門官、国税専門官などの高度専門職業人を目指せるように、会計分野における科目だけでなく、租税制度、所得税法、消費税法、法人税法といった租税法分野に関する科目

も豊富にそろえ、修士論文作成指導を充実させます。修士の学位取得に関わる研究が国税審議会の認定を受けた場合、税法科目において税理士国家試験2科目が免除されることになります。

今、日本も世界の国々も、経済のグローバル化という大きなうねりの中で経済や社会システムの転換が求められています。それは企業においても、行政機関においても同様です。この大きなうねりを乗り越えるために、確かな専門性と世界における自社や自己の役割を認識できる力も育む指導を通じて、名古屋エリアにおける地域経済、地域社会の発展に貢献する人財を多く輩出したいと考えています。

経済学専攻

開設課程	修士課程
授与学位名称	修士(経済学)
標準修業年限	2年
入学定員	7人
取得可能な資格	税理士国家試験の科目免除 高等学校教諭専修免許状(公民)
特色	◎夜間開講科目の受講のみで修了可能な時間割編成 ◎1年間で修了可能な短期履修コースを設置 ◎3年以上かけて修了する長期履修コースを設置 ◎社会人を対象にする修士論文コースと課題探究コースを設定

経済学専攻 ▶修士課程

現代経済の問題に対応できる総合力を養う4科目群を設置。
経済学に関わる理論・実証、歴史、応用、法・行政を学べます

カリキュラムは、「理論・実証科目」、「歴史・思想史科目」、「応用・政策科目」、「法・行政科目」の4つの科目群からなります。

(1)「理論・実証科目」

経済学の基礎理論の学修を通して、経済学の考え方や経済学の分析手法の修得を目指します。特に、経済のグローバル化による市場経済の世界的浸透という現況を考慮して、国際経済問題（グローバル金融、国際貿易およびアジア経済など）を分析する上での基礎的理論に偏重した開放経済に関する学識を高められるのが特色です。

(2)「歴史・思想史科目」

現代における経済諸問題は、解決策が経済史や経済思想史の学術的成果により教導されるように、過去の経済運営の成果とリスクを歴史的に考察することは、政策の失敗を繰り返さないための重要な視座を与えてくれます。そこで本研究科では歴史・思想史科目を手厚く学べるようにしています。

(3)「応用・政策科目」

「応用・政策科目」は、現代の日本が抱える、経済のグローバル化と地域経済、少子高齢社会における社会保障、金融・財政システム、環境・食料・資源エネルギーといった4つの問題を分析する上で欠かせない学識の修得を目指す科目群です。

(4)「法・行政科目」

◎税理士国家試験への対応科目

税理士国家試験科目に対応する科目を設置しているため、院生は修士の学位を取得するとともに、体系的かつ効率的に税理士試験科目を修得することができます。「租税制度論Ⅰ」および「租税制度論Ⅱ」を専修科目として履修し、その「演習」での指導の下で修士論文を完成させることになります。その修士論文が国税審議会から認定を受けた場合には、税法科目2科目に合格したものとみなされて試験が免除されます。

◎公務員試験への対応科目

公務員試験の経済科目に対応する「経済学特論I(経済数学・統計学)」をはじめ、「経済学特論II(経済原論)」「経済学特論III(財政学・財政事情)」、行政職に造詣の深い教員から実践的な指導を受けられる「経済学特論IV(地域社会と地域行政)」を設置しています。

社会人院生の研究演習は2コース制

修士論文コースと課題研究コース

修士論文コースには、2年間で修了する標準コースに加えて、1年間で修了できる1年制コースを設置しています。いずれのコースでも指導教員に加えて副指導教員がサポートします。

課題研究コースは社会人などが自らの仕事に関わる課題をテーマに取り上げることができるコースで、1年間の短期履修コース、2年間の標準履修コース、3年間の長期履修コースを設置しています。

社会人が学びやすい

平日夜間および土曜日開講

一般院生および社会人院生が共に学べるように、VI時限(18:10～19:40)およびVII時限(19:50～21:20)に重点的に科目を配置するカリキュラムを組んでいます。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

区分	授業科目	単位数	備考
	○ミクロ経済学Ⅰ 講義(春学期)	2	○印は特修科目
	○ミクロ経済学Ⅱ 講義(秋学期)	2	1.特修科目から
	○マクロ経済学Ⅰ 講義(春学期)	2	専修科目1科目
	○マクロ経済学Ⅱ 講義(秋学期)	2	を選定し、その
	○経済思想史Ⅰ 講義(春学期)	2	12単位(講義4
	○経済思想史Ⅱ 講義(秋学期)	2	単位、研究演習
	○日本経済史Ⅰ 講義(春学期)	2	8単位)を必修す
	○日本経済史Ⅱ 講義(秋学期)	2	ること。
	○西洋経済史Ⅰ 講義(春学期)	2	2.専修科目以外
	○西洋経済史Ⅱ 講義(秋学期)	2	の特修科目及び
	○経済政策論Ⅰ 講義(春学期)	2	講義科目から
	○経済政策論Ⅱ 講義(秋学期)	2	20単位以上を
	○社会政策論Ⅰ 講義(春学期)	2	修得すること。
	○社会政策論Ⅱ 講義(秋学期)	2	3.修士論文又は
	○現代財政論Ⅰ 講義(春学期)	2	課題探求報告書
	○現代財政論Ⅱ 講義(秋学期)	2	は、研究演習科
	○金融論Ⅰ 講義(春学期)	2	目によって作成
	○金融論Ⅱ 講義(秋学期)	2	し、その審査に
	○グローバル金融論Ⅰ 講義(春学期)	2	合格すること。
	○グローバル金融論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○国際経済論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○国際経済論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○アジア経済発展論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○アジア経済発展論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○現代日本経済論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○現代日本経済論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
専攻科目	○労働経済学Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○労働経済学Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○環境経済学Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○環境経済学Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○農業政策論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○農業政策論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○地域経済産業論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○地域経済産業論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○計量経済分析Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○計量経済分析Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○経済情報管理論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○経済情報管理論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	○租税制度論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	○租税制度論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	所得税法Ⅰ 講義(春学期)	2	
	所得税法Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	消費税法Ⅰ 講義(春学期)	2	
	消費税法Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	法人税法Ⅰ 講義(春学期)	2	
	法人税法Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	財務会計論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	財務会計論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	税務会計論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	税務会計論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	簿記論Ⅰ 講義(春学期)	2	
	簿記論Ⅱ 講義(秋学期)	2	
	経済学特論Ⅰ(経済数学・統計学) 講義(春学期)	2	
	経済学特論Ⅱ(経済原論) 講義(春学期)	2	
	経済学特論Ⅲ(財政学・財政事情) 講義(春学期)	2	
	経済学特論Ⅳ(地域社会と地域行政) 講義(春学期)	2	
研究科目演習	研究演習	演習	8



法学研究科

名城公園キャンパス

Graduate School of Law

現代社会における価値観の多様化や経済活動の複雑化に伴う法解釈のあり方や法制度の見直しが求められる中、適切な法解釈と法律の運用ができる力の養成に力を入れています。

法律や政治の本質を追究できる力を養成 法律を深く理解した税理士を目指すことができます

法学研究科の歴史は、1964（昭和39）年の修士課程の開設に始まり、1966年の博士課程の開設を経て、既に半世紀を超えていきます。法学研究科は、この間、研究者や税理士などの専門職、民間企業や行政機関で活躍する人材を輩出してきました。国際化、多様化する現代社会の多方面で活躍できる、法的知識と思考力、専門性の高い政治知識と実践力を養えるのが本研究科の特色となっています。学べる領域は法律学と政治学の2領域ですが、2領域をクロスして学ぶことも、いずれかを深く学ぶこともできます。

特に、法律学領域においては租税法の理解を深めることができるカリキュラムを整え、税理士国家試験合格を目指す社会人の声に応えています。租税法の隣接領域となる民法、行政法、憲法等も学べるのが特色となっています。

税理士を目指す上で民法の理解は不可欠です。国民への課税制度は、私人的様々な経済活動から生まれる利益を対象としていますが、民法を中心とする私的取引法がそれらの活動を規律しているからです。租税法を基にした訴訟は行政訴訟となるので、行政法の十分な理解が税務実務上求められます。また、憲法を学ぶ意義は、例えば、夫婦別々に課す所得税制度は家族生活における男女平等を規定する憲法24条に違反するのではないか、などの論点に見られるように、租税法そのものの基本原理を深く理解するのに役立つことがあります。

私たちが養成しようとする税理士とは、税務を適切に処理できる技術にとどまらず、税務上における未知の問題が起った際に、適切に対処できる法的知識と奥深い教養、法理論を駆使できる法的思考力を身につけた税理士です。そのため授業では、判例研究を重視しています。裁判所が下した判決でも、それを鵜呑みにするのではなく、批判的な精神を持って、その妥当性を多面的に検討していきます。これによって応用が利くとともに、法の本質を追究できる力を身につけることができます。

政治学領域では、適切な政治とはどのようなものかの追究を基本とし、中央政治、地方政治、国際政治などの在り方について海外と比較して学べるようにしています。総合的な視点を養える、幅広くかつ深い研究を可能にしています。

法律学専攻

開設課程	博士前期課程	博士後期課程
授与学位名称	修士(法学)	博士(法学)
標準修業年限	2年	3年
入学定員	15人	2人
取得可能な資格	税理士国家試験の科目免除 中学校教諭専修免許状(社会) 高等学校教諭専修免許状(公民)	
特　　色	◎社会人対象の授業を名城公園キャンパスで平日夜間および土曜日に開講 ◎税理士国家試験の試験科目免除の適用有り(法人税、所得税、相続税、消費税、酒税法、国税徴収法、事業税、住民税、固定資産税のいずれか2科目) ◎他研究科の授業科目を10単位まで履修可能(商学研究科、経営学研究科、経済学研究科、総合政策研究科)	

法律学専攻 ▶博士前期課程 博士後期課程

研究領域は法律学と政治学 法律学では租税法を深く学べます

法律学専攻において、法律学と政治学を融合的に学習・研究することもできますし、両分野の中から興味を持った領域について専門的に学習・研究することもできます。

法律学領域では、法の基本となる憲法をはじめ、行政法、民法、商法、刑事法など、実社会で最も必要とされる全ての法分野を学べるようにしています。

特に、租税法分野における専門領域は幅広く、所得税法、法人税法、国際租税法、消費税法、相続税法などを学ぶことができ、税理士国家試験の試験科目免除につながる指導を受けられるようにしています。

政治学領域では、比較政治や近代日本政治史などを学べます。法と政治体制のかかわりといった民主主義や福祉の在り方などを理解することで、法律をより深く理解することができますし、政治学そのものを深く追究することもできます。



講義+演習授業で 知識と考える力の双方を高める

特修科目は全て講義形式と演習形式の授業科目をセットにし、専門知識を定着させながら、実践的な力を身に付けられるようにしています。講義形式の授業にも演習問題を取り入れるようにしていますが、演習授業に当たっては、与えられた課題について自ら積極的に参考文献や関連する判例などを調べ、自分なりの答を考えた上で授業に臨むことが求められます。授業では、各自が考えてきた答を発表し合い、見落としている点を確認したり、どのような点に問題があるのかについて議論することで、柔軟な法的思考力と幅広い知識を得られるようにしています。

研究領域は多様な法分野をカバー 新たな法理を探求する能力の養成が可能

現代社会における価値観の多様化や経済活動の高度化に伴い、法律が改正されたり、法解釈の在り方に疑問が投げかけられたり、法制度の見直しが求められるなど、法律学は常に新たな課題に直面しています。従来は定説が形成されていた論点においても、鋭く学説が対立するようになるなど、法律学は日々、進化を遂げています。

博士後期課程では、法律実務現場で生起する新たな課題の解決にも役立つ、新たな法理を探求できる高度な能力を持つ研究者および教育者の育成を目指しています。研究領域は、公法、民事法、刑事法といった主要な法律分野のほか、法哲学などの基礎法分野もカバーしています。

また、政治学領域も研究でき、グローバル時代にふさわしい研究者・教育者を目指すことができます。

○博士前期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○民法研究	4 8	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その12単位(講義4、演習8)を必修すること。 (2) 専修科目以外の科目から20単位(講義4)以上を選択履修すること。 (3) 修士論文は専修科目によって作成すること。 (4) 単位履修方法 第1年次 20単位 専修科目 講義4 演習4 専修科目以外の科目 講義12
○商法研究	4 8	第2年次 12単位 専修科目 演習4
○社会法研究	4 8	専修科目以外の科目 講義8
○国際私法研究	4 8	
○民事訴訟法研究	4 8	
○法哲学研究	4 8	
○法制史研究	4 8	
○憲法研究	4 8	
○行政法研究	4 8	
○国際法研究	4 8	
○政治学研究	4 8	
○租税法研究	4 8	
○宗教法研究	4 8	
○刑事法研究	4 8	
法社会学研究	4	
比較法研究	4	
特殊講義	4	

○博士後期課程

(年度により、開講科目は変わります)

授業科目	単位数	備考
○民法研究	12	○印は特修科目 (1) 特修科目の中から専修科目1科目を選定し、その研究指導12単位を必修すること。 (2) 法学研究特講4単位を必修すること。 (3) 博士論文は専修科目によって作成すること。
○商法研究	12	
○社会法研究	12	
○国際私法研究	12	
○民事訴訟法研究	12	
○法哲学研究	12	
○法制史研究	12	
○憲法研究	12	
○行政法研究	12	
○国際法研究	12	
○政治学研究	12	
○租税法研究	12	
○宗教法研究	12	
○刑事法研究	12	
法学研究特講	4	



総合政策研究科

日進キャンパス

Graduate School of Policy Studies

現代社会が抱える複雑な問題の解決力の養成を目指し
複数の学問分野の研究成果や研究手法を修得できるカリキュラムを用意。
総合的な政策を立案・実行できる人材を目指すことができます。

複合領域にまたがる問題に対処できる人材を養成。 現実の問題に対応できる諸領域を学べるようにしています。

総合政策研究科の特色は、現代的な問題の解決にあたり、一つのディシプリンや学説、学問体系に固執することなく、多くの領域の学問に軸足をまたがるように置いて、幅広い視野から物事を観察・分析することにあります。目標は、高度な専門的知識を兼ね備えた、複合領域にまたがる問題に対処できる人材の養成です。

現代的な問題としては、例えば、福島第一原子力発電所事故を挙げることができます。同事故は、原子力発電そのもののは非に関する問題をはじめ、代替エネルギーに関する問題や放射性廃棄物の除去及び処分に関する問題、政府の対応方法など、さまざまな問題を我々に投げかけました。これらを解決するには、一つの学問体系に関する知識や技術だけでは到底足りず、複合領域に関わる知識と技術が求められます。

別の見方をすれば、総合政策的な研究領域というのは、ディシプリンとしてあるというよりはむしろ現実の問題の中にある既存分野を横断した学際的に取り組めるところに特徴があります。

もっとも、こうした現代社会の問題を解決したいという思いは同じでも、具体的な問題となると、大学院への入学を考えている大学生、社会人、そして各国から学びにくる留学生でおのずと異なります。院生の一人ひとりが考える現実の問題、それに対応できる複合領域を準備するのはそう簡単なことではありません。しかし、それこそが総合政策研究科の使命なのです。

総合政策研究科ではどのような問題解決策を導くことができるのか、そのガイダンスとして、「総合政策概論」という科目を設置しています。これは、総合政策研究科の複数の教員の専門分野に触れることができるオムニバス形式の授業で、時事性のあるテーマを担当教員が取り上げて問題提起を行い、教員と院生とで活発に議論することで、知識の幅を広げたり、問題解決策を導くための基礎的な論理展開力を身につけることを目的にしています。

主役はもちろんみなさんです。私たち教員は、このような授業を通して、大きくは持続可能な共生社会をどう築き上げていくかという課題に対して、そして具体的にはみなさんの個別のディシプリンに沿って見出された問題を、複合的視野に置く手助けをすることで、解決への糸口を導いていきたいと考えています。

総合政策専攻

開設課程	博士前期課程
授与学位名称	修士(総合政策)
標準修業年限	2年
入学定員	6人
取得可能な資格	中学校教諭専修免許状(社会) 高等学校教諭専修免許状(公民)
特色	◎社会人対象の授業は履修者のニーズに応じて、フレックス時間割制を一部導入 ◎社会人を対象にした、1年で修了できる特定課題研究コースを開設 ◎他研究科の授業科目を10単位まで履修可能(商学研究科、経営学研究科、経済学研究科、法学研究科)

総合政策研究科

総合政策専攻 ▶ 博士前期課程

統合的に諸学問を生かせる力が 身に付けられるカリキュラム

多様な学問を個別に理解することが本研究科の目的ではありません。実社会で役立つように、諸問題を統合して生かせる力が身に付けられるようにカリキュラムを工夫しています。その一つが必修科目の「総合政策概論」で、人間環境と社会システムに関する研究の中から総合性のあるテーマを取り上げ、複数分野の教員と院生とが議論し合うことで総合的な知見を養えるようにしています。

科目群は「研究基礎科目」、「研究科目」、「研究発展科目」からなり、基礎力の養成、幅広い知識・研究手法の修得、専門分野の研究をバランスよく進められるようにしています。

実務で役立つ技能と 研究能力を高める科目を設置

身に付けた専門性と知識を実務で生かせるように、「キャリア支援科目」や「研究支援科目」を設置しているのも特色です。

「キャリア支援科目」には、国際性を身につけるためのコミュニケーション英語力を養える科目があるほか、教職課程専修免許取得に資するための教育学関連の科目もあります。

「研究支援科目」には、自らが関心を持った課題についてフィールド調査したり、収集したデータの解析を行うなどの活動を通じて、調査・分析・評価方法といった研究手法を身に付けられるようにしています。

社会人のための1年で修了可能な 特定課題研究コースも開設

地方自治体職員や民間企業の会社員が、職場で抱える課題について研究できる「特定課題研究コース」を設けています。修士論文の作成に代わって特定課題研究レポートを提出し、優れた成果をあげた場合、1年で修了することができます。

▶ 総合政策研究科博士前期課程カリキュラム (年度により開講科目は変わります)

区分	授業科目		単位数	備考
研究基礎科目	総合政策概論	講義	2	・総合政策概論 講義 2単位（必修）
	人間科学基礎論	講義	2	・研究計画法 講義 2単位（必修）
	社会システム基礎論	講義	2	・研究基礎科目 講義 1科目 2単位（選択必修）
	現代政治論 a・b	講義	2・2	・研究科目 講義 7科目 14単位以上
	現代行政論 a・b	講義	2・2	・研究発展科目 演習 1科目 8単位 (1年次、2年次の2年間、修士論文作成を含む)
	経済政策論 a・b	講義	2・2	※この研究発展科目1科目が専攻科目となる。
	環境計画論 a・b	講義	2・2	・修了要件 1. 通常のコースは研究発展科目での修士論文作成をふくめて34単位以上履修すること。
	国際開発論 a・b	講義	2・2	2. 社会人として入学し、課題研究コースを選択した場合、課題研究をふくめて34単位以上履修すること。
	国際関係論 a・b	講義	2・2	(1) 課題研究…4単位（ただし、研究発展科目を当該年度1年間は履修し課題研究を提出して4単位）とする。
	生涯学習論 a・b	講義	2・2	(2) 1.の場合に比べて研究発展科目が4単位不足するので研究科目の9科目18単位以上履修を必要とする。
	超域文化論 a・b	講義	2・2	※支援科目（選択）の修了単位への算入 前期に開設される研究支援科目、キャリア支援科目の選択科目は6単位までを修了要件として算入可能とする。
	人間文化論 a・b	講義	2・2	
	福祉社会論 a・b	講義	2・2	
	応用統計論 a・b	講義	2・2	
	情報通信論 a・b	講義	2・2	
	社会情報論 a・b	講義	2・2	
	対人関係論 a・b	講義	2・2	
	対人・集団行動論 a・b	講義	2・2	
	総合政策特講	講義	2	
(専攻発展科目)	政治・行政研究	演習	8	
	経済・環境研究	演習	8	
	国際・地域研究	演習	8	
	社会・文化研究	演習	8	
	情報・メディア研究	演習	8	
	人間科学研究	演習	8	
研究支援科目	研究計画法	講義	2	
	社会調査法	講義	2	
	データ分析	講義	2	
	アカデミックリーディング＆ライティング	講義	2	
	空間分析	講義	2	
	オペレーションズリサーチ	講義	2	
キャリア支援科目	上級コミュニケーション英語1・2	講義	2・2	
	教育学特講 1・2	講義	2・2	



薬学研究科

楠元キャンパス

Graduate School of Pharmacy

医薬分子薬学と医療機能薬学の最先端を包括的に学べる博士課程で、
国際的かつ分野横断的な研究に取り組むことができます。

社会で活躍する薬剤師が現場で抱えた課題を探究することもできます。

**独創的で創造的な医療薬学・創薬研究を遂行できる
高度専門薬剤師や薬学研究者を育成しています。
社会で長く活躍できる力を身につけることができます。**

愛知学院大学大学院薬学研究科(博士課程)では、最新の薬学に精通した薬剤師、高い研究成果を上げられる薬学研究者の養成を目指しています。研究領域は医療分子薬学と医療機能薬学ですが、両分野を単に分けているのではなく、各専門知識と技術を医療薬学の発展に結び付けられるようにカリキュラムを編成しています。

医療分子薬学領域では最新の生命科学、免疫学、神経科学、薬理学、医療薬学の教育・研究を通して、作用機能の解明、医薬品の研究開発や副作用の防止に役立つ知見に触れることができます。特に、新薬の研究開発では世界水準の知見と技術が求められることから、それらを身につけられるように、国際的かつ分野横断的な研究に取り組める環境を整えています。

一方、臨床現場で求められる複数薬剤の適正服用指導、チーム医療への主体的貢献、院内感染防止や治験薬管理業務における適切な実践力の養成につながる教育・研究を展開しています。

研究指導にあたっては、院生が複数領域の知見を応用できる創造性や独創性を養えるように、複数教員による指導体制を整え、新しい薬学研究を切り開く先導的な役割を果たせる人材を目指せるようにしています。

病気の治療は、医師を中心とした医療から、医師・薬剤師・看護師などが対等な関係の中で互いに協力し合うことで患者本位の医療を提供する「チーム医療」へと転換しています。一方、医薬品の適正使用や薬効の適正評価を中心とした「医療薬学」に対する社会からの

期待が高まっています。これらはいずれも薬剤師に寄せられる社会的な期待といえ、薬剤師は日々進歩する医療技術や変化する医療体制に適応できる新たな力を養っておく必要があります。また、より高度な医療の提供や革新的な医薬品の開発に貢献する必要があります。

そこで、私たちが養成しようと考える薬剤師とは、10年経っても、20年経っても、社会の変化、薬学や医療の進化に対応でき、社会で長く活躍することができる高度専門薬剤師です。特に地域が抱える高齢化やグローバル化の問題をはじめ、社会全般の情報化や自動化などに対応できる力を身につけた人材です。臨床や医療薬学分野における造詣を深めた地域医療の中核になる高度専門薬剤師を目指すことができます。

薬学研究科の人材育成の根幹は、薬学及び医療薬学に関わる様々な新しい課題を自ら発見・解決できる研究能力を涵養することであり、「研究遂行能力の育成」と「医療薬学における深い見識の修得」を両輪として、社会に貢献できる薬学研究者及び医療薬学研究者の養成を目的とします。

そのため、薬学及び医療薬学領域全般にわたる深い学識と高度な専門性を持ち、創造性と独創性を兼ね備え、様々な問題に対して柔軟に対応できる能力を養成することを教育研究上の目的とします。

医療薬学専攻

開設課程	博士課程
授与学位名称	博士(薬学)
標準修業年限	4年
入学定員	3人
特 色	○早期修了制度有り。 ○社会人入試有り。 ○社会人薬剤師が学びやすいように、平日夜間にも開講

医療薬学専攻 ▶ 博士課程

最新の薬学知識に精通した薬剤師と 高い研究成果を上げられる薬学研究者を養成

医療技術、薬物治療の高度化が進む中、薬剤師には高度かつ最新の知識と技術が求められていますが、薬学研究科博士課程では医療人として質の高い薬剤師・薬学研究者にふさわしい力を養えるのが特色です。

医薬品の研究開発、作用機能解明、副作用の防止といった面では、最新の生命科学、免疫学、神経科学、薬理学、医療薬学を学ぶ一方、臨床現場で求められる新薬の理解、複数薬剤の適正服用指導、チーム医療への主体的貢献、院内感染防止や治験薬管理業務における適切な実践力の養成につながる教育・研究を展開しています。

医薬品の研究開発においては世界水準の開発技術が求められていることから、国際的かつ分野横断的な研究を進められるようにしています。国際的な視野を養えるように英語論文研究を充実させるとともに、英語による授業やレポートの作成、海外研究者の講演などへの積極的な参加を促しています。

研究指導にあたっては複数領域の知見を応用できる豊かな創造性・独創性を養えるように複数教員による指導体制を整えています。

医療分子薬学と医療機能薬学の最先端を包括的に 研究し博士課程にふさわしい創造性と独創性を育む

基礎薬学と医療系薬学を包括した総合的な薬学の学術を修得できるのが特色です。カリキュラムは医療分子薬学分野という基礎と医療機能薬学分野という臨床分野を専門科目にしていますが、両分野を単に横み分けしているわけではなく、各専門知識と技術を医療薬学の発展に結び付けられるよう編成しています。

◎医療分子薬学分野

多様化した疾病治療に対応できる高度かつ最新の医薬品知識を養えるとともに、生命科学の急速な進歩に呼応して新しい医療分子薬学の創設に貢献できる力を養います。

分子論的・細胞生物学的思考の養成を重視しつつ、医薬品開発と医療分子薬学の発展を先導する高度な教育・研究を行います。

◎医療機能薬学分野

疾患原因解明に基づく医薬品の適正使用、医療薬剤学的見地からの患者への的確な配慮のあり方、患者のQOL支援、薬物動態と臨床効果、神経ネットワークでの薬物作用機序など、医療薬学における諸要因を多面的に解明・改善し、医療機能薬学の発展に資する高度な教育・研究を行なう分野です。

医療薬学と臨床薬学を有機的に結びつけられる高度な専門性を養えます。

早期修了制度を 設置

優れた業績を上げた大学院生(社会人を含む)が、最短3年で修了できる制度です。

薬剤師の社会人が修学できるように 授業時間を設定

社会で活躍する薬剤師にも最新の知識を学べるように門戸を広げています。仕事に就きながら学べるように専門科目は18時から開講しています。

また入学時に就学期間を設定し、博士論文にふさわしい研究を完遂する時間で確保すると共に、博士課程の学納金を予め設定した就学期間内で支払う事を可能とすることで、実質年額負担を軽減する「長期履修制度」を設定しています。

一例として就学期間を6年と設定します。この場合、学納金の総額は4年間の博士課程の約390万円と同額ですが、総額を6年間で分けて(年額約65万円)支払う事が可能となります。

この制度は余裕を持った研究期間の確保と共に、学納金の年額負担が軽減され、社会人大学院生のニーズに応える特徴的な制度です。

修了後の進路は

医療施設や医薬品開発企業など

修了後の主な進路は、薬学関連の教育・研究機関(薬系大学の教員、医療系大学の教員、国公私立の薬学関連研究所の研究員)、医療施設(臨床薬剤師、病院薬剤師、地域薬局薬剤師)、民間企業(附置研究所の研究員、医薬品開発など)、厚生・環境衛生にかかわる行政関連技官や地方自治体の保健・薬学関連部門の薬剤師・技官などです。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

区分	授業科目	単位数	担当研究室	備考
専門科目	医療分子薬学特論Ⅰ	2	薬用資源学 生化学 薬学総合教育	○修了要件 専門科目 8専門科目から5 科目以上を選択し て、10単位以上を 修得
	医療分子薬学特論Ⅱ	2	薬品分析学 製剤学	特別研究 専門科目の特別研 究12単位を修得
	医療分子薬学特論Ⅲ	2	衛生薬学 微生物学	特別演習 専門科目の属する 分野の特別演習8 単位を修得
	医療分子薬学特論Ⅳ	2	薬化学 生体有機化学 応用薬理学	以上、計30単位以 上を修得し、かつ 最終試験及び博 士論文の審査に 合格すること
	医療機能薬学特論Ⅰ	2	薬効解析学	
	医療機能薬学特論Ⅱ	2	薬物治療学 疾患病態学	
	医療機能薬学特論Ⅲ	2	薬剤学 医療薬学	
	医療機能薬学特論Ⅳ	2	臨床薬学 実践薬学	
研究別	薬学特別研究	12	研究指導	
特別演習	医療分子薬学特別演習	8	演習	
	医療機能薬学特別演習	8	演習	



歯学研究科

楠元キャンパス

Graduate School of Dentistry

歯科医学の基礎から臨床まで、先進的な研究に取り組めるのが特色。

長期履修制度を利用することで

臨床現場に立ちながら、博士号の取得を目指すこともできます。

■歯科医学の幅広い先進的研究に取り組める 指導体制と最新機器、研究連携基盤が整っています。

愛知学院大学大学院歯学研究科は中部地区を代表する歯学研究の拠点の1つです。大学院生一人ひとりがもつ興味とそれに基づく種々の課題に対応できるよう研究領域を幅広く設定しており、カバーする領域は歯科基礎医学系および歯科臨床医学系の17領域に及びます。主科目の教員に指導を受けながら、副科目や選択科目として選んだ他の領域について学ぶことができ、学際的な複数の領域にまたがる研究に取り組むことも可能です。

研究を円滑に進めるため、本研究科では、基礎研究と臨床研究の間の指導連携にも努めています。このため、臨床研究を進める過程で想定外の基礎的問題に遭遇した場合においても、これを克服するために必要な知識や研究手法を基礎系教員から学び、関連する領域についての基礎を固めながら、研究を進めることができます。

本研究科は研究指導体制を整える一方で、研究に欠かせない最新機器の充実にも努めています。本研究科が備えていない機器が必要になった場合には、連携している研究施設の援助を求められるよう基盤を形成しています。歯学研究科の各領域はさまざまな研究所等と連携して研究を進めており、多様な研究機器を持つ施設とネットワークを形成しています。

本研究科は、歯科医療の現場で活躍する歯科医師が社会人入試を経て入学し、研究に取り組むことができる制度を取り入れています。また、職業を持っているなどの理由で、長期履修を希望する入学者のために長期履修制度も設けています。長期履修制度とは標準修業年限(4年)を超えて計画的に履修する仕組みのことで、年間の修得単位数を軽減することによって、仕事を続けながら研究

に取り組むことを可能にしています。さらに、研究を継続するために修業年限を延長できる制度も整えています。その際は審査の上、学費の一部を免除する制度を導入しています。

また、優れた業績をあげた大学院生には、最短3年で修了できる早期修了制度を導入しています。

歯学部の学生は卒業前に臨床実習を経験し、卒業後は1年以上の歯科医師臨床研修を義務づけられていますが、これらの過程は魅力ある研究課題に出会う好機です。自ら発見し興味を持ったテーマに果敢に挑戦することによって、専門領域の知識を深め、高度の研究能力と技能を修得して、患者さんにより良い治療を提供することが可能になります。研究活動を通して、歯科医学の発展と歯科医療の質の向上に貢献していただくことを願っています。

歯学専攻（歯科基礎系歯科臨床系）

開設課程	博士課程
授与学位名称	博士（歯学）
標準修業年限	4年
入学定員	18人
特　　色	◎社会人入試制度 ◎長期履修制度 ◎早期修了制度

歯学専攻 ▶ 博士課程

先進的な研究により、歯科界のよき指導者を養成 国民の健康とQOLの向上にも寄与する

歯学研究科は、歯科医学の理論および応用を教授し、独創的研究によってその深奥を究め、文化の創造発展と、人類の福祉に貢献するとともに、専攻分野に関する研究を指導する能力を養うことを目的として1968(昭和43)年4月に開設されました。

先進的な研究を通して国民の健康とQOLの向上に寄与し、歯科界における良識ある人材の育成を目指しています。また、社会人入試を導入し、歯学履修課程(6年)卒業後3年以上の社会経験を有する者も受け入れています(社会経験には、歯科医師臨床研修医の経験も含みます)。

歯科基礎医学系と歯科臨床医学系を 有機的に研究できるカリキュラム

カリキュラムは、歯科基礎医学系と歯科臨床医学系の2つに大別されます。

歯科基礎医学系では口腔解剖学や歯科理工学をはじめとした7分野、歯科臨床医学系では歯科保存学や口腔外科学などの10分野にわたる科目を開講しています。

カリキュラムの特徴は、歯科基礎医学系と歯科臨床医学系の関連する専攻科目が有機的な連携をもって教授される点にあります。1年次は主科目、副科目、選択科目の講義・演習が行われ、歯科医学情報処理法や歯科基礎医学研究法・歯科臨床医学研究法などを教授する統合講義も開講しています。2年次以降は主科目を主体にした研究を進め、3年次あるいは4年次に学位論文にまとめる研究成果を研究発表会にて発表し、4年次に学位論文を提出します。また、専攻する研究内容に応じて、在学中に日本国内、外国の大学・研究所において研究を行うことも可能です。

研究分野は広い範囲をカバー 指導には各分野のスペシャリストがある

歯科医学の基礎から臨床まで、広範囲にわたる分野の先進的研究に取り組むことができます。

また、研究にあたっては各分野で専門的な知識と経験を有する教授から直接指導を受けることができ、研究成果は日本国内だけではなく、国際学会や国際誌で発表されています。

▶科目一覧

(年度により、開講科目は変わります)

区分	授業科目	単位数			総合講義	備考
		特別研究	特論	演習		
歯科基礎系	口腔解剖学*	16	4	4	1) 主科目の特別研究16単位、特論4単位および演習4単位は必修である(合計24単位)。	1) 主科目の特別研究16単位、特論4単位および演習4単位は必修である(合計24単位)。 2) 副科目の特論および演習から4単位を選択する。 3) 選択科目の特論および演習から2単位を選択する。 4) 総合講義(2単位)は副科目の単位と置き換えることができる。 5) 総計で30単位以上を修得する。 6) 原則として、総合講義の履修は1年次に、副科目、選択科目の履修は1、2年次に行う。
	口腔組織・発生学	16	4	4		
	口腔解剖形態学	16	4	4		
	口腔生理学	16	4	4		
	口腔生化学	16	4	4		
	口腔病理学	16	4	4		
	口腔微生物学	16	4	4		
	歯科薬理学	16	4	4		
	歯科理工学	16	4	4		
	口腔衛生学	16	4	4		
歯科臨床系	保存修復学	16	4	4	*口腔解剖学、歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科学を専攻科目とする者は原則として、同じ専攻科目の他の授業科目を副科目および選択科目として履修することは出来ない。 また、これらの4専攻科目以外を専攻科目とする者は原則として、同じ専攻科目の2つの授業科目から副科目および選択科目を履修することは出来ない。	2
	歯科保存学*	16	4	4		
	歯内治療学	16	4	4		
	歯周病学	16	4	4		
	部分床義歯学	16	4	4		
	全部床義歯学	16	4	4		
	冠・橋義歯学	16	4	4		
	口腔外科学*	16	4	4		
	機能形態構築口腔外科学	16	4	4		
	病因病態制御口腔外科学	16	4	4		
	歯科矯正学	16	4	4		
	小児歯科学	16	4	4		
	歯科放射線学	16	4	4		
	歯科麻酔学	16	4	4		
	歯科病態内科学	16	4	4		
	歯科病態関連外科学	16	4	4		
	主科目	主科目	主科目			
	—	副科目	副科目	副科目		
	—	選択科目	選択科目			

研究分野の特徴



大学院入試結果

▶博士前期(修士)課程(推薦・特別入試他)

研究科	専攻	募集人員	2022年		2023年		2024年	
			志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
文学研究科	宗教学仏教学専攻	若干名	0	0	1	1	3	2
	歴史学専攻		2	2	2	2	1	1
	英語圏文化専攻		1	1	2	2	0	0
	日本文化専攻		1	1	1	1	2	2
	心身科学研究科		7	7	6	4	6	6
	心理学専攻		0	0	1	1	2	2
	健康科学専攻		1	1	2	2	1	1
	商学研究科		0	0	0	0	1	1
	経営学研究科		0	0	0	0	1	1
	経済学研究科		1	1	2	2	0	0
法学研究科	法学専攻		2	2	1	1	1	1
	総合政策研究科		0	0	0	0	0	0

▶博士前期(修士)課程(一般入試)

研究科	専攻	募集人員	2022年				2023年				2024年			
			秋季		春季		秋季		春季		秋季		春季	
			志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
文学研究科	宗教学仏教学専攻	若干名	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	歴史学専攻		10	4	4	5	4	2	2	2	2	1	0	0
	英語圏文化専攻		10	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1
	日本文化専攻		10	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
	心身科学研究科		20	22	7	8	4	36	12	13	2	35	6	5
	心理学専攻		10	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	0
	健康科学専攻		10	5	3	2	0	2	2	0	0	0	0	0
	商学研究科		10	0	0	3	3	0	0	0	0	1	0	0
	経営学研究科		7	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
	経済学研究科		15	2	2	4	2	4	1	2	2	4	3	6
法学研究科	法律学専攻		6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
	総合政策研究科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

▶博士前期(修士)課程(社会人入試)

研究科	専攻	募集人員	2022年				2023年				2024年			
			秋季		春季		秋季		春季		秋季		春季	
			志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
文学研究科	宗教学仏教学専攻	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歴史学専攻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語圏文化専攻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本文化専攻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心身科学研究科		0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	心理学専攻		1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
	健康科学専攻		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	商学研究科		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	経営学研究科		0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	経済学研究科		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
法学研究科	法律学専攻		1	1	2	1	2	2	6	5	2	2	2	2
	総合政策研究科		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

▶博士後期課程

研究科	専攻	募集人員	2022年		2023年		2024年	
			志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
文学研究科	宗教学仏教学専攻	若干名	4	0	0	1	1	0
	歴史学専攻		5	0	0	1	1	0
	英語圏文化専攻		5	0	0	0	0	1
	日本文化専攻		5	0	0	0	0	0
	心身科学研究科		4	1	1	0	0	1
	心理学専攻		4	0	0	1	1	5
	健康科学専攻		5	0	0	1	1	5
	商学研究科		5	0	0	1	1	0
	経営学研究科		5	0	0	0	0	0
	法学研究科		2	0	0	0	0	0
総合政策研究科	総合政策専攻		4	0	0	0	0	0
	法律学専攻		0	0	0	0	0	0

▶博士課程

研究科	専攻	募集人員	2022年		2023年		2024年	
			志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
薬学研究科	医療薬学専攻		3	2	2	4	1	1
	歯科基礎系		18	20	20	24	17	17
歯学研究科	歯科臨床系							

学納金／奨学金制度

学納金【博士前期（修士）・後期課程（博士課程）】

○博士前期（修士）

	文学研究科		心身科学研究科		商学・経営・経済・法学研究科		総合政策研究科	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金※	200,000円		200,000円		200,000円		200,000円	
授業料	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円
教育充実費	25,000円	25,000円	50,000円	50,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
学会入会金※	1,000円		1,000円		1,000円		1,000円	
学会費	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
災害共済会	800円		800円		800円		800円	
同窓会会費	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	13,000円	12,000円	13,000円	12,000円
合計	592,800円	391,000円	617,800円	416,000円	595,800円	393,000円	595,800円	393,000円
年額	983,800円		1,033,800円		988,800円		988,800円	

○後期課程（博士課程）

	文学研究科		心身科学研究科		商学・経営・経済・法学研究科		総合政策研究科		薬学研究科		歯学研究科	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金※	200,000円		200,000円		200,000円		200,000円		200,000円		600,000円	
授業料	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	355,000円	375,000円	375,000円	565,000円	565,000円
教育充実費	40,000円	40,000円	65,000円	65,000円	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
学会入会金※	1,000円		1,000円		1,000円		1,000円		1,000円		1,000円	
学会費	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	5,000円	
災害共済会	800円		800円		800円		800円		800円		800円	
同窓会会費	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	13,000円	12,000円	13,000円	12,000円	10,000円	10,000円		
合計	607,800円	406,000円	632,800円	431,000円	610,800円	408,000円	610,800円	408,000円	687,800円	486,000円	1,271,800円	665,000円
年額	1,013,800円		1,063,800円		1,018,800円		1,018,800円		1,173,800円		1,936,800円	

①入学手続時には、春学期分を納入。秋学期分は10月納入

②※印は入学時にのみ納入

③入学金は、本学出身者の場合は半額免除

④同窓会費は、本学同系列出身者の場合は免除

⑤薬学研究科の教育充実費は本学薬学部出身者は半額免除

上記学納金一覧は、2024年度入学生用です。

奨学金制度

経済的な理由により修学が困難な院生に対し、学業を続ける機会を保障・援助する制度を設けています。

奨学金制度は大別して、返還義務のない「給付」と、修了後所定の期間内に返還義務がある「貸与」の2種類があります。

本学では、学力と人間性に優れた院生と、その家族の負担を軽減するために、開学50周年記念奨学金などの独自の奨学金制度を設けるとともに、地方自治体や民間団体による各種奨学金制度を取り扱っています。

各種奨学金制度には、選考基準や採用審査などがありますので、詳細については、学生課窓口までお問い合わせください。

愛知学院大学独自の奨学金

◎愛知学院大学大学院特別奨学生奨学金

- 奨学金額：年額30万円を給付
- 対象者など：成績優秀者。若干名

◎愛知学院大学同窓会奨学金

- 奨学金額：年額24万円（2021年度実績）を給付

◎愛知学院大学開学50周年記念奨学金

- 奨学金額：年額30万円
- 対象者など：学業成績が優秀で、経済的理由により修学が困難と認められる者。若干名

◎愛知学院大学外国人留学生学納金減免制度

- 留学生（留学ビザ所有者）は、授業料および、教育充実費が減免されます。
- 学納金の減免を希望する留学生（留学ビザ所有者）からの申請に基づいて減免判定を行い、減免対象者の決定後に該当留学生へ減免学を返金します。

※詳しくは、国際交流センターへお問い合わせください。

日本学生支援機構による奨学金 ※その他に、財団法人による奨学金制度が各種あります。

◎第一種奨学金（無利息）

- 対象者など：特に優れた院生で、経済的理由により著しく修学困難な者
- 貸与月額：
 - 博士前期課程・修士課程 5万円または8.8万円
 - 博士後期課程・博士課程 8万円または12.2万円

◎第二種奨学金（利息付）

- 対象者など：第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって選考された者
- 貸与月額：5種類の貸与月額から自由に選択可能
 - （5万円 8万円 10万円 13万円 15万円）

曹洞宗による奨学金

◎曹洞宗奨学金（給付）

- 奨学金額：10万円
- 対象者など：曹洞宗の僧籍を有し、文学研究科宗教学仏教学専攻博士課程及び修士課程に在籍している学生

◎曹洞宗育英会奨学生（貸与）

- 奨学金額：月額3万円
- 対象者など：曹洞宗の僧侶（座元以上の法階を有する者、または得度後1年を経た者）で大学院修士課程、同博士課程に在籍する者

大学院進学相談会

各研究科長や研究科主任などが個別相談を行ったり、入学試験の過去の問題を配布したりしています。

2024年5月31日(金)

時間	13:30より全体会(心理学専攻) 17:00~18:00(文学・総合政策 研究科 健康科学専攻)
対象研究科	文学・心身科学・総合政策 研究科
場所	日進キャンパス ・9号館1階(心理学専攻) ・図書館ラーニングコモンズ(文学・総合政策 研究科 健康科学専攻)

2024年9月7日(土)

時間	13:30~全体会(研究科別) 全体会終了後~15:00(個別相談会) ※必ず全体会に出席すること
対象研究科	商学・経営学・経済学 研究科
場所	名城公園キャンパス アガルス4階

時間	13:00~15:00(個別相談会)
対象研究科	法学研究科
場所	名城公園キャンパス アガルス4階

2024年6月1日(土)

時間	13:00~15:00
対象研究科	薬学研究科
場所	楠元キャンパス 薬学部棟1階 就職相談室

2024年10月19日(土)

時間	13:00~15:00
対象研究科	薬学研究科
場所	楠元キャンパス 薬学部棟1階 就職相談室

2024年6月2日(日)※オープンキャンパスと同時開催

時間	13:30~全体会(研究科別) 全体会終了後~15:00(個別相談会) ※必ず全体会に出席すること
対象研究科	商学・経営学・経済学 研究科
場所	名城公園キャンパス アガルス4階

時間	13:00~15:00(研究科別)
対象研究科	法学研究科
場所	名城公園キャンパス アガルス4階

2024年12月6日(金)

時間	13:30より全体会(心理学専攻) 17:00~18:00(文学・健康学専攻・総合政策)
対象研究科	文学・心身科学・総合政策 研究科

2024年7月27日(土)

時間	13:00~15:00
対象研究科	薬学研究科
場所	楠元キャンパス 薬学部棟1階 応接室

2024年12月7日(土)

時間	13:00~全体会(研究科別) 全体会終了後~15:00(個別相談会) ※必ず全体会に出席すること
対象研究科	商学・経営学・経済学 研究科
場所	名城公園キャンパス アガルス4階

時間	13:00~15:00(個別相談会)
対象研究科	法学研究科
場所	名城公園キャンパス アガルス4階

2024年9月6日(金)

時間	13:30より全体会(心理学専攻) 17:00~18:00(文学・健康学専攻・総合政策)
対象研究科	文学・心身科学・総合政策 研究科
場所	日進キャンパス 3号館1階

※相談会会場については、都合上変更となる場合がございます。

大学院説明会(薬学部在学生向け)

2024年5月15日(水)

時間 13:30～15:00

対象研究科 薬学研究科 全学年対象

場所 楠元キャンパス 4号館5階 4505大学院講義室

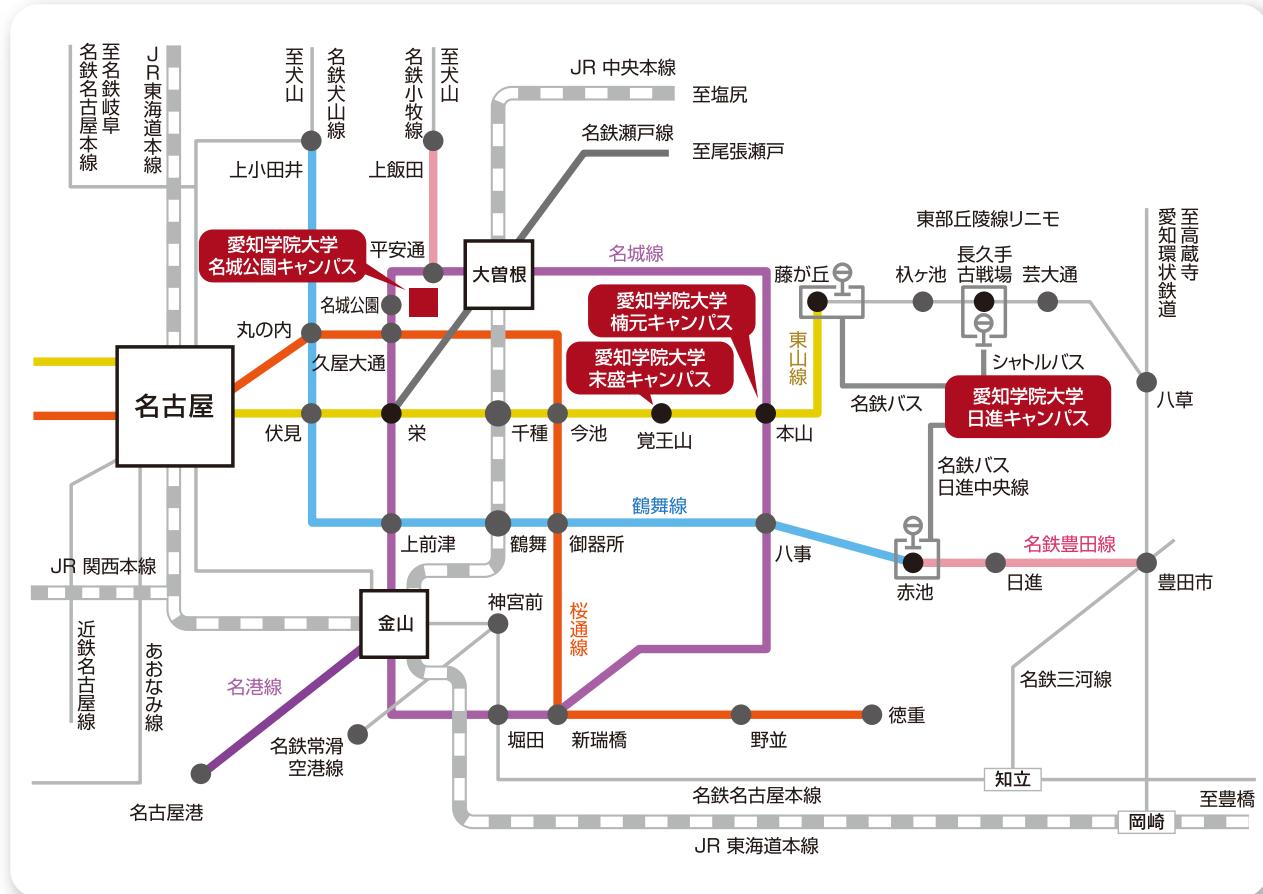
2025年2月26日(水)

時間 11:15～12:45

対象研究科 薬学研究科(4・5年生対象)

場所 楠元キャンパス 4号館5階 4505大学院講義室

Access Map



►キャンパスへのアクセス

■文学研究科 ■心身科学研究所 ■総合政策研究科

日進キャンパス

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

- 地下鉄東山線「藤が丘」下車 名鉄バス10分
- リニモ「長久手古戦場」下車 シャトルバス7分
- 地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線「赤池」下車 名鉄バス40分
- 車・バイク・自転車での通学が可能
- 名古屋駅名鉄バスセンターより 名鉄高速バス40分

■商学研究科 ■経営学研究科 ■経済学研究科
■法学研究科

名城公園キャンパス

〒462-8739 愛知県名古屋市北区名城3-1-1
◎地下鉄名城線「名城公園」下車 徒歩1分

■薬学研究科 ■歯学研究科

楠元キャンパス

〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1-100
◎地下鉄東山線「本山」下車 徒歩約5分

■ 愛知学院大学歯学部附属病院

末盛キャンパス

〒464-8651 愛知県名古屋市千種区末盛通2-11
○地下鉄東山線「覚王山」下車 徒歩約2分



GRADUATE SCHOOL
OF
AICHI GAKUIN UNIVERSITY

愛知学院大学大学院

願書請求・お問い合わせ

▶文学研究科 心身科学研究科 商学研究科
経営学研究科 経済学研究科 法学研究科 総合政策研究科
〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
愛知学院大学入試センター TEL 0561-73-1111 (代表)

▶薬学研究科
〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1-100
愛知学院大学薬学部事務室 TEL 052-751-2561 (代表)

▶歯学研究科
〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1-100
愛知学院大学歯学部事務室 TEL 052-751-2561 (代表)

<https://www.agu.ac.jp/>